第4期きしわだ男女共同参画推進プラン 令和6年度実績報告・令和7年度実施計画の見方

資料2

5/29差替え分

① 施策 番号	②施策内容	③事業概要	④担当課	⑤ 実施課	⑥令和6年度 取組内容	⑦令和6年度 実績	⑧評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	⑦今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	⑩令和7年度 取組内容			①指標 (上、B:E いない、「		t、C:目標		
	地域活動におけ	地域で活動を行う団体 に対して、本プランの趣	() (Is also as	人権・日	5実施課です 各種団体所管課の協力のも	岸和田市青少年指導員協議	⑩令和7年度に 実施課の実施する取組	内容です		① 活動 指標		けを行った	:回数([回)		
1	る男女共同参画 の促進のための	旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメリットについての情報提	自治振興課 人権·男女共 同参画課	男女共	と、団体の会議等の場で、男女 共同参画に関するトピックにつ		- 一		各種団体所管課の協力のもと、 団体の会議等の場で、男女共同 参画に関するトピックについて伝	目標	策定時 R3.3	R3	R4 2	R5	R6	R7 2
		供や研修会等を実施する。	関係各課	同 参 画		主催講座の情報提供を行った。			えるなど、情報提供に努める。	実績	_	2	2	3	3	
				課						②評価	-	В	В	Α	Α	
		 は推進プランの ジから記載の番号で	रू ते	人権	令和6年度の			 で課の⑪指標 に実績・⑫詞	- - 平価(=自己評価)です		かきかい	けを行った	:回数([回)		
2	// / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	画することの必要性につ	人権·男女共	女	実施課の⑥取組内施策番号」と同じ】	谷と①美額です	_ 12 P	呼価の基準は /	A~Dまたは「−」で表	します	定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	進	いて、所管する地域活動 団体等に対して啓発を	同参画課 関係各課	共同	0.1.2.5				:目標達成、C:目標値以下、 、「−」は数値化できないも	Φ.	_	2	2	2	2	2
		行う。 		参画			0.3	大心していない	(一) は数値化できないも	<u> </u>	_	2	2	3	3	
		4 1施第	後番号の②施	策内容 人	ドに取り組む担当課です 	<u> </u>				評価	-	В	В	Α	Α	
		市民団体に対して、本プ		権・						活動 指標	働きかけ	けを行った	:回数([回)		
3	市民団体における男女共同参画の促進のための	ランの趣旨や男女共同参画の具体的な取組	人権·男女共 同参画課	男女	【施策番号1と同じ】	*** *** ** ** ** **	施課の自己評価の理由で		【施策番号 と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
3	情報提供や学習機会の提供	例、そのメリットについて の情報提供や研修会等	関係各課	共 同		77/1	6年度の自己評価がC・ を記入しています	Dの場合は		目標	-	I	I	2	2	2
	IN A VIJEIN	を実施する。		参画		<u> </u> <u> </u>				実績		ı	I	3	3	
				課						評価	-	В	В	Α	Α	
	灾事 . 女旧. 人进	家事や育児、介護に取り 組む男性グループに対		人権・男		きしわだ男女共同参画フォーラム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを	*			活動 指標		レープの兼	新規登録	绿団体数	(団体)	
4	に取り組む男性	して各施設の登録グ	人権·男女共 同参画課	女共	を開催し、登録の勧めや活動	考える~」(44人参加)を開催した。	今年度の男性グループの新規 登録団体がなかったため。	継続	を開催し、エーザンや活動支		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	動支援	の登録の勧めと活動支援を行う。	生涯学習課	八同参	73X 2 13 1 1 1	また 登録グループである「おじ 年度に向けた方向性です	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		援を行っていく。	目標実績	-	-		_	0	_
				画課	(拡大・絲	継続・縮小から選択)				評価	-	D	В		С	

施舞	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
	地域活動におけ	地域で活動を行う団体 に対して、本プランの趣		自		地区市民協議会交流研修会 で、男女共同参画の視点や、マ			地区市民協議会交流研修会で	活動 指標	働きかい	けを行っフ	た回数(回)		
١,	る男女共同参画	旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメ	自治振興課 人権·男女共	治振	関係課と協力し、会議等の場で 地域活動の役員に男女がバラ	イノリティへの配慮の大切さも含めた、地域防災の講演会「市民	_	継続	は、現時点でテーマ等は決定し ていないが、男女共同参画の視		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
		リットについての情報提供や研修会等を実施す	同参画課 関係各課	興課	ンスよく選出されるよう働きかける。	防災力を高めるために」を開催した。		THEE HYL	点や、マイノリティへの配慮の大切さも含んだうえで開催すること	目標	_	-	-	- 1	I	1
	IN A VIJEIN	3.		四八		(II/8開催参加者I25人)			とする。	実績	_	- 1	Ι	I	I	
										評価	_	В	В	В	В	
	地域活動におけ	地域で活動を行う団体 に対して、本プランの趣		人 権 ·	各種団体所管課の協力のも	岸和田市青少年指導員協議				活動 指標	働きかに	けを行っフ	た回数(回)		
١,	る男女共同参画の促進のための	旨や男女共同参画の具体的な取組例、そのメ	自治振興課 人権·男女共	男女	と、団体の会議等の場で、男女		_	継続	各種団体所管課の協力のもと、 団体の会議等の場で、男女共同		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
'		リットについての情報提供や研修会等を実施す	同参画課 関係各課	共同		児童女員協議会の場において 男女共同参画センターの紹介や 主催講座の情報提供を行った。		本在 形论	参画に関するトピックについて伝 えるなど、情報提供に努める。	目標	_	2	2	2	2	2
	城云の延快	る。		参画	(2) つ。	土惟舑座の情報提供を打った。				実績	-	2	2	3	3	
				課						評価	_	В	В	Α	Α	
		性別によって役割を分けることなく、男性と女性		自	関係課と協力し、会議等の場で	性別や仕事の有無に関わらず、 参加しやすい地域活動になるよ			性別や仕事の有無に関わらず、 参加しやすい地域活動になるよ	活動 指標	働きかい	けを行っ7	た回数(回)		
2	男女がともに担う地域活動の推	がともに地域活動に参画することの必要性につ	自治振興課 人権·男女共	治振	地域活動の役員に男女がバランスよく選出されるよう働きか	うに、行事や会議の見直しを 行った地区市民協議会の取組	_	継続	うに、引き続き行事や会議の見 直しを行うこととし、地区市民協		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	進	いて、所管する地域活動団体等に対して啓発を	同参画課 関係各課	興課	け、そのメリット等についても説明を行う。	を地区市民協議会交流研修会 (II/8開催参加者I25人)で		THEE HOL	議会の取組を地区市民協議会 交流研修会で紹介し、他の団体	目標	-	-	_	1	Ι	I
		行う。		歃		紹介し、他の団体の参考にして いただいた。			の参考にしていただくこととす る。	実績	-	1	ı	I	I	
										評価	-	В	В	В	В	
		性別によって役割を分けることなく、男性と女性		人 権 ·						活動 指標	働きかい	けを行っフ	た回数(回)		
2	男女がともに担う地域活動の推	がともに地域活動に参画することの必要性につ	自治振興課 人権·男女共	男女	【施策番号 と同じ】	【施策番号」と同じ】		継続	【施策番号 と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
2	進	いて、所管する地域活動 団体等に対して啓発を	同参画課 関係各課	共同	ル心水宙ち「こ内し」			补生 水光		目標	-	2	2	2	2	2
		団体寺に対し(啓発を 行う。		参画						実績	-	2	2	3	3	
				課						評価	-	В	В	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して!	上、B:		战、C:目		
	市民団体におけ	市民団体に対して、本プ		人 権 ·						活動指標	働きかに	けを行った	た回数(回)		
3	る男女共同参画の促進のための	ランの趣旨や男女共同 参画の具体的な取組	人権·男女共 同参画課	男女	【施策番号1と同じ】	【施策番号1と同じ】	_	継続	【施策番号1と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
3	情報提供や学習機会の提供	例、そのメリットについて の情報提供や研修会等	関係各課	共同	We was a second	LINE A TENDO		NCL N/L	LABAR STENO	目標	-	I	ı	2	2	2
	IN A VIJEIN	を実施する。		参画						実績		1	ı	3	3	
				課						評価	_	В	В	Α	Α	
		家事や育児、介護に取り		人 権		きしわだ男女共同参画フォーラム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを				活動 指標	男性グル	レープの	新規登録	録団体数	女(団体))
4	に取り組む男性	組む男性グループに対 して各施設の登録グ	人権·男女共 同参画課	男女	男性対象の育児に関する講座を開催し、登録の勧めや活動	考える~」(44人参加)を開催した。	今年度の男性グループの新規	継続	男性対象の育児に関する講座を開催し、登録の勧めや活動支		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
4	グループへの活 動支援	ループ・団体、クラブへ の登録の勧めと活動支	生涯学習課	共 同	支援を行っていく。	た。 また、登録グループである「おじ さんきっちんきしわだ」が新条地	登録団体がなかったため。	利性 羽 む	援を行っていく。	目標	_	-	I	-	T	-
		援を行う。		参 画		区公民館で出前講座を開催するため、調整等の支援を行った。				実績		-	ı	-	0	
				課		るため、間正守の文及と刊がた。				評価	-	D	В	_	С	
		家事や育児、介護に取り		生	男性対象の定期講座をクラブ				男性対象の定期講座をクラブや	活動 指標	男性グル	レープの	新規登録	録団体数	Þ	
4	に取り組む男性	組む男性グループに対 して各施設の登録グ	人権·男女共 同参画課		や自主的な活動へ移行できるよう、積極的に支援を行う。クラ	定期講座「足から鍛える男のストレッチ(全8回)」「パパと子ど	クラブ登録には至っていない。	継続	自主的な活動へ移行できるよう、積極的に支援を行う。クラブ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
-	グループへの活 動支援	ループ・団体、クラブへ の登録の勧めと活動支	生涯学習課	習課	ブ登録説明会等を行い、新規 団体の設立を支援する。	ものランチ道場(全4回)」を実施。	/ / / Duniversity - CV da V o	THE HOL	登録説明会等を行い、新規団体の設立を支援する。	目標	_	ı	I	_	I	I
		援を行う。		酥	国体の設立と文扱する。				の放立と又扱する。	実績	0	0	0	I	0	
										評価	-	С	С	В	С	
		男性の家事・育児・介護	人権·男女共	人 権 ·		①「きしわだ男女共同参画フォーラム」(44人参加) ②「ゆめパのじかん上映会&屋				活動指標	講座開作	崔数(回)			
5	男性への家事・ 育児・介護のた	スの参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手	同参画課 介護保険課	男女	男性対象の家事・育児・介護に	内型プレーパーク」(70人参加)		継続	男性対象の家事・育児・介護に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
5	めの学習機会の 提供	段を用いて学習機会を	子ども家庭課 生涯学習課	共 同	関する講座を開催する。	③「親子でサイエンス・クッキング」(37人参加・16組中2組が	-	杯	関する講座を開催する。	目標	-	3	3	3	3	3
		提供する。	図書館	参画		父親と子の参加) ④「親子で日曜大工」(18人参				実績		3	6	6	4	
				課		加)				評価	-	В	Α	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		成、C:目		
		男性の家事・育児・介護	人権·男女共	子	庭課へ移管】	パパの妊婦体験や沐浴実習、妊娠 の成り立ちや産後の育児、赤ちゃん の泣き等について学び、妊娠出産 に伴う女性の身体的・精神的変化			パパの妊婦体験や沐浴実習、妊娠の成り立ちや産後の育児、赤ちゃんの泣き等について学び、	活動 指標	開催回	数 (クー)	ル)※1:	クール=3	3回	
5	男性への家事・ 育児・介護のた	への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手	同参画課 介護保険課	ども	娠出産に伴う女性の身体的・精神	を知り、夫婦が互いをいたわり、協 力して家事・育児に取り組めるよう	_	継続	妊娠出産に伴う女性の身体的・ 精神的変化を知り、夫婦が互い		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	めの学習機会の 提供	段を用いて学習機会を	子ども家庭課 生涯学習課	家庭	わり、協力して家事・育児に取り組	男性に家庭での役割意識をもってもらえるように働きかけた。		742.72	をいたわり、協力して家事・育児 に取り組めるよう男性に家庭で	目標	_	6	6	6	6	6
			図書館	課	めるよう男性に家庭での役割意識をもってもらう。 3回1クールで年間6クール開催	ち日曜日開催3回) 参加人数(延):妊婦172人、パー			の役割意識をもってもらう。 3回 I クールで年間6クール開催	実績	6	6	6	6	6	
					(うち日曜日開催3回実施)。	トナー102人			(うち日曜日開催3回実施)。	評価	_	В	В	В	В	
		男性の家事・育児・介護	人権·男女共	介	家族の介護負担を減らすには、介護しやすい環境を整え適切な介護 技術を身につけることが必要不可欠である。介護を担う人が正しい	らくらく介護教室 ①R6.10/23~11/20	もう」か所について、広報募集し		家族の介護負担を減らすには、介護しやすい環境を整え適切な介護 技術を身につけることが必要不可欠である。介護を担う人が正しい知	活動 指標	実施場所	所(力所)			
5	男性への家事・ 育児・介護のた	への参画意識の浸透を目的に、講座や様々な手	同参画課 介護保険課	護保	知識を身につけて介護と向き合う	(毎週水曜日、全5回)、東岸和 田市民センター、11/20のみ特	たが応募が1名のみ、別日程での開催は調整不可のため、申込	約 4	識を身につけて介護と向き合うこと で、身体的かつ精神的な負担を軽		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	めの学習機会の 提供	段を用いて学習機会を	子ども家庭課 生涯学習課	険課	を軽減すること、介護が必要になっ	別養護老人ホームCiao (チャオ)神於山園で実施済。実人数	者・実施団体と協議の上、開催	补生 的证	減すること、介護が必要になった時の手続きの方法や相談窓口の場所	目標	-	2	2	2	2	2
		定保する。	図書館	武	- 10 - 2 44 4 5 - 1 3 3 - 1 4 - 2 1	26名、延人数44名参加。	平正に至うた。		等を知ってもらうことを目的に「らく らく介護教室」(1クール5回)を開	実績	2	ı	2	2	ı	
					回)を開催する。				催する。	評価	_	С	В	В	С	
		男性の家事・育児・介護	人権·男女共	生		定期講座「パパと子どものランチ道場(全4回)」、短期講座				活動 指標	講座開作	催数(回)			
5	男性への家事・ 育児・介護のた	への参画意識の浸透を目的に、講座や様々な手	同参画課 介護保険課	涯学	男性の家事・育児・介護への参 画意識の向上を目的とした講	「パパ・ママがもうダメとなる前 に〜東洋医学編〜」(大人8名	_	継続	男性の家事・育児・介護への参 画意識の向上を目的とした講座		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	めの学習機会の 提供	段を用いて学習機会を提供する。	子ども家庭課 生涯学習課	習課	座を開催する。	子ども5名参加)・「発達障害・ グレーゾーンの気になる子の中		THE NO.	を開催する。	目標	-	_	_	1	_	I
		THE IT Y SO	図書館	歃		高生時代にコレはしとこうやめとこう」(40名参加)を実施。				実績	0	2	Ι	4	3	
										評価	-	Α	В	Α	Α	
		男性の家事・育児・介護	人権·男女共							活動 指標	関連図	書の展示	₹			
5	男性への家事・ 育児・介護のた	への参画意識の浸透を 目的に、講座や様々な手	同参画課 介護保険課	図書	男女の区別なく利用してもらえ	性別に関わらず、様々なジャンル		継続	男女の区別なく利用してもらえ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
5	めの学習機会の 提供	段を用いて学習機会を	子ども家庭課 生涯学習課	館	る資料の収集に努める。	の資料を収集している。	_	利企 形 亿	る資料の収集に努める。	目標	-	-	-	-	-	-
		提供する。	図書館							実績	-	-	-	-	-	
										評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		育児休業制度について			「服務・勤怠関係資料」と「妊				「服務・勤怠関係資料」と「妊	活動指標	説明資料	料の作成	戊と更新			
6	市職員の男性の 育児休業の取得	職員に周知するなど、男 性の育児休業の取得を	人事課 人権·男女共	人事	娠・出産・育児にかかる休暇・ 休業の一覧表」を活用し、本人	全職員が確認できるよう、パンフ レットではなく、庶務研修資料と	_	継続	娠・出産・育児にかかる休暇・休 業の一覧表」を活用し、本人ま		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	促進	促進する。また、制度を 利用しやすい職場環境	同参画課	課	または配偶者が出産を控えている職員に対し、積極的に説明	してデータで共有した。		ne: nyL	たは配偶者が出産を控えている 職員に対し、積極的に説明を	目標	-	_	-	-	-	-
		の整備に努める。			を行っていく。				行っていく。	実績	-	-	-	1	-	
										評価	-	D	В	В	В	
		育児休業制度について		人 権 ·		きしわだ男女共同参画フォーラム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを				活動指標	取得促进	進に関す	⁻ る働きた	いけ		
	市職員の男性の	職員に周知するなど、男 性の育児休業の取得を	人事課	男女		考える~」(44人参加)につい		date date	制度を利用しやすい職場環境の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
6	育児休業の取得 促進	促進する。また、制度を 利用しやすい職場環境	人権·男女共 同参画課	共同	周知に努める。	て、人事課の協力のもと、研修ポイント(カフェポイント)対象講座	-	継続	整備について、広報物等で周知に努める。	目標	_	_	-	-	-	-
		の整備に努める。		参画		とし、庁内に周知した。複数の若 手職員のフォーラム参加につな				実績	-	-	_	_	-	
				課		がった。				評価	-	D	Α	В	В	
		「岸和田市における女 性職員の活躍の推進に				庶務研修資料に休暇情報につ				活動指標	出産補助	助休暇耶	双得率 (9	%)		
7		関する特定事業主行動 計画」に定められている		人事		いて掲載済み。 また、配偶者の妊娠・出産の報		継続	積極的に制度の周知を行い、男		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
/	助体吸の取得促進	出産補助休暇の取得率	同参画課	課		告があった際には、出産補助休 暇の取得が可能であることを説	-	术 图	性の出産補助休暇の取得率の 向上を目指す。	目標	-	60	65	70	80	90
		90%の目標値達成に向けて、制度を周知する。				明している。				実績	58	66	63	66	95	
										評価	-	Α	С	С	Α	
		「岸和田市における女 性職員の活躍の推進に		人 権 ·		「パートナー」は発行できなかっ たが、きしわだ男女共同参画				活動指標	取得促进	進に関す	る働きな	いけ		
7		関する特定事業主行動 計画」に定められている		男女		フォーラム「「男性育休」を有効活用~本人・周りの育児参画の	「パートナー」で育児休業制度	継続	庁内研修や広報物等で制度の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	助体吸の取得促進	出産補助休暇の取得率		共同	制度の周知を行う。	コツを考える~」について、人事 課の協力のもと、研修ポイント	などを紹介できなかったため。	市企 形 亿	周知を行う。	目標	-	-	-	-	-	-
		90%の目標値達成に向けて、制度を周知する。		参画		(カフェポイント)対象講座とし、 庁内に周知した。				実績	-	-	-	_	-	
				課						評価	-	D	В	В	С	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		成、C:目		
		様々な手段を活用して 事業所に情報発信を行		人 権 ·	【施策番号5参照】	男性の家事・育児に関するセミナーなどを開催する大阪府主催のドーンdeキラリフェスティバル			【施策番号5参照】	活動指標	情報発信	信回数(回)			
8	事業所に対する 男性の家事・育	うとともに、関係団体と	人権·男女共 同参画課	男女	男性対象の家事・育児・介護に関する講座を開催の際、事業	や、男性の育児参加支援・女性 活躍推進などを積極的に行う大	_	継続	男性対象の家事・育児・介護に関する講座を開催の際、事業所		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	児・介護への参 画に関する啓発		産業政策課	共 同	所メールマガジン等により、事業所に対して周知する。	阪府「男女いきいき事業者表 彰」募集案内、きしわだ男女共		<u> አቀድ አ</u> ሃር	メールマガジン等により、事業所に対して周知する。	目標	_	2	2	2	2	2
		る。		参画	未がに対して同知する。	同参画フォーラムなどについて、 事業所メールマガジンで周知を			に対して同知する。	実績		3	4	5	3	
				課		行った。				評価	_	Α	Α	Α	Α	
		様々な手段を活用して 事業所に情報発信を行		産	●「雇用労働講座」や「知って 得する労働問題講座」の講座				●「雇用労働講座」や「知って 得する労働問題講座」の講座内	活動指標	情報発信	信回数(回)			
8	事業所に対する 男性の家事・育	うとともに、関係団体と	人権·男女共 同参画課	業政	内容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等か	他の講座内容が優先されたた	実施できなかったため。		容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等から		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
0	児·介護への参 画に関する啓発	育児・介護への参画に	同多画 試 産業政策課	策	らの依頼により、講座参加事業 所に対して男性の家事・育児・	め、実施できなかった。	夫他(さながつににぬ)。	杯 於了	の依頼により、講座参加事業所 に対して男性の家事・育児・介	目標	-	2	2	2	2	2
		関する研修会を実施す る。		課	介護への参画に関する情報発 信を行う。				護への参画に関する情報発信を 行う。	実績	0	ı	-	0	0	
										評価	-	С	С	D	D	
		時代の動きや社会ニー ズに沿った図書・DVDを		人 権 ·	●男女共同参画週間(6/23-6/29)に合わせ、関連する図書を展示する。	●男女共同参画週間に合わせ、 関連する図書を展示した。			●男女共同参画週間(6/23-6/29)に合わせ、関連する図書を展示する。	活動指標	図書·D	VDの購	入数(#	1)		
a	図書・DVDの充	購入するとともに、図書・	人権·男女共 同参画課	男女	1とめた室内バンブルットを作成	図書の貸出について、クレアシオンに掲載・紹介した。			●新刊図書・DVDの概要をクレアシオンやホームページ等に掲		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
7	実と有効活用	し貸し出すことで、男女	図書館	共同	し各施設に配架する。 ●男女共同参画意識の浸透の	●映画上映会の開催時に、男女 共同参画に関する情報提供を			載·紹介する。 ●男女共同参画意識の浸透の	目標	-	55	55	55	55	55
		共同参画の意識の浸透 を図る。		参画	ため、DVDの上映会を開催し、 男女共同参画に関するデータ	共同変画に関する情報提供を 行った(年4回)。			ため、DVDの上映会を開催し、 男女共同参画に関するデータな	実績		52	35	35	33	
				課	などの提供を行う。				どの提供を行う。	評価	_	С	С	С	С	
		時代の動きや社会ニー ズに沿った図書・DVDを			時代の動きや社会ニーズに					活動指標	関連テー	-マ展示	の開催			
a	図書・DVDの充	購入するとともに、図書・	人権·男女共 同参画課	図書	沿った図書・DVDを購入すると ともに、図書・DVDの概要を広	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入し、概要を	_	継続	時代の動きや社会ニーズに沿った図書・DVDを購入し、概要を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
9	実と有効活用	し貸し出すことで、男女	図書館	館	く周知し貸し出すことで、男女 共同参画の意識の浸透を図	た図書・DVDを購入し、ベタを 周知し貸出を行っている。	_	水 全 形冗	周知し貸出を行う。	目標	-	I	-1	- 1	ı	ı
		共同参画の意識の浸透 を図る。			3.					実績	- 1	Ι	-1	- 1	ı	
										評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		国の動向・新たな制度		人 権 ·		男女共同参画週間や男女共同 参画白書などの情報について				活動 指標	情報発信	信数(回)			
10	国の動向・新た な制度等につい	の創設や改正等について、絶えずアンテナを張	人権·男女共	男女		ホームページなどで情報発信し た。また、今年度から施行された	_	継続	国の動向や新しい情報につい て、ホームページ等で随時情報		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
10	ての情報発信	やすく市民に伝える。	同参画課	共同	発信に努める。	「困難な問題を抱える女性への 支援に関する法律」について、庁		THE NOT	発信に努める。	目標	_	2	2	2	2	2
		【市民に限定せず】		参 画		内の相談窓口担当者会議にお いて周知した。				実績		3	5	5	3	
				課						評価	-	Α	Α	Α	Α	
	男女共同参画の	性別による役割分担意		広	広報紙やチラシ、ポスター作成	广韶延の記事 堪載佐頼を受け			広報紙やチラシ、ポスター作成	活動 指標	意見交拍	奥の実施	拖回数(回)		
1.1	視点からの市の 広報物に関する	識を助長することのない、人権に配慮した広報	広報広聴課 人権·男女共	報	時の表現や写真・イラストに関	た際、表現などが人権に配慮されているか確認し、必要に応じて		継続	時の表現や写真・イラストに関する注意点をまとめ、必要に応じて		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	ガイドラインの作成	物を作成するため、全庁 で使用できるガイドライ	同参画課	聴	じて人権・男女共同参画課と適宜、意見交換する。			补生 的证	人権・男女共同参画課と適宜、 意見交換する。	目標	_	_	-	1	_	I
	JUX.	ンを作成する。		試	且、思允又挟する。	750			息允又採りる。	実績	ı	2	2	2	2	
										評価	_	Α	Α	Α	Α	
	男女共同参画の	性別による役割分担意		人 権 ·	【終了】					活動 指標	意見交拍	奥の実施	也			
11	視点からの市の 広報物に関する	識を助長することのない、人権に配慮した広報	広報広聴課 人権·男女共	男女	今後、大阪府のガイドラインを 活用していくため、この施策の	_	_	継続	【終了】 今後、大阪府のガイドラインを活		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	ガイドラインの作成	物を作成するため、全庁 で使用できるガイドライ	同参画課	共同	取組は終了。(令和4年度に決定)			补生 的证	用していくため、この施策の取組 は終了。(令和4年度に決定)	目標	-	ı	-	1	ı	_
	DX.	ンを作成する。		参画	上)					実績	_	ı	-	_	-	
				課						評価	_	D	В	-	-	
		市民の男女共同参画に		人 権 ·		18歳以上の市民2,400人を対				活動 指標	市民意	識調査の)実施(回)		
12	市民意識調査の	関する意識を把握する ため、市民意識調査を	人権·男女共	男女	18歳以上の市民を対象に男 女共同参画に関する市民意識	象に男女共同参画に関する市 民意識調査を実施した(11		継続	実施予定なし		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
12	実施	実施するとともに、本プランの見直しの基礎資	同参画課	共 同	女共同参画に関する中氏息識調査を実施する。	月)。 有効回答数:531	_	杯	夫他了正なし	目標	-	-	-	-	I	-
		料とする。		参画		有効回答率: 22.1%				実績		-	-	-	I	
				課						評価	-	-	_	-	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		战、C:目		
		若年層の男女共同参画	人権・里士共	人 権 ·		岸和田市立小・中・高校において、小学5年生・中学2年生・高校2年生を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施した				活動 指標	調査の	実施(回)			
13		に関する意識を把握す	同参画課 産業高校学務	男女	小·中·高校生を対象に男女共 同参画に関する意識調査を実	(11月)。	_	継続	実施予定なし		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
, 0	施	校生への意識調査を実施する。		共同	施する。	中学生1,146		ne nyu	X48 1 × 4 0	目標	_	-	-	-	I	-
		7E 7 0 8	NIE IX H DA	参画		有効回答率: 小学生70.8% 中学生74.6%				実績	_	-	-	-	I	
				課		高校生95.1%				評価	-	-	-	-	В	<u> </u>
		若年層の男女共同参画	/ 栋 . 囯 女 廿	産業						活動 指標	人権·男力	女共同	参画課力	が実施す	る調査	への協
12		に関する意識を把握す	同参画課 産業高校学務	高校	人権・男女共同参画課からの 依頼に基づき、意識調査を実	人権・男女共同参画課からの依頼に基づき、高校2年生全員を		継続	人権・男女共同参画課からの依頼に基づき、意識調査を実施す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13		校生への意識調査を実	課	学	他親に基づき、息畝調査を美施する。	対象に意識調査を実施した。	-	术 本於元	る。 (R7実施予定なし)	目標	_	ı	1	1	1	-
		施する。	人権教育課	務 課						実績	-	-	-	-	-	
										評価	-	-	-	-	В	
		若年層の男女共同参画	/ 栋 · 田 / · 廿	人						活動指標	生活アン	ンケート	実施校σ)割合(%	6)	
12		に関する意識を把握す	同参画課 産業高校学務	権教	•	学校生活アンケートなどで、小 中高生の意識の実態を把握で		継続	学校生活アンケートなどで、小 中高生の意識の実態を把握す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13	が思識調査の実施	校生への意識調査を実	課	育	中向生の息畝の美感を 佐佐する。	きた。	-	杯 於 於 於 於	中向生の息畝の美感を把握する。 る。	目標	-	100	100	100	100	100
		施する。	人権教育課	課						実績	100	100	100	100	100	
										評価	-	В	В	В	В	
	性別による固定	性別による固定的な役		人 権 ·		8講座開催。 きしわだ男女共同参画フォーラ ム「「男性育休」を有効活用~				活動 指標	講座開作	崔数(回)			
1./	的な役割分担意	割分担意識の歴史的背 景やその後の経緯、今な	人権·男女共 同参画課	男女	性別による固定的な役割分担金業のなけれてある。	本人・周りの育児参画のコツを 考える~」(44人参加)、NPO法		継続	性別による固定的な役割分担		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
14	識の払拭のための学習機会の提供がある。	お根強く残る実態を知り、それらの解消に向け	同参画課 生涯学習課	共同	意識の払拭のための講座を開 催する。	人ここからKitと共催「ゆめパの じかん上映会&屋内型プレー	-	尔 图	意識の払拭のための講座を開催する。	目標	-	10	8	8	8	8
	供と充実	た講座を開催する。		参画		パーク」(70人参加)、「親子でサイエンス・クッキング」(37人				実績		6	9	12	8	
				課		参加) など。				評価	_	С	Α	Α	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
	性別による固定	性別による固定的な役		生		定期講座「パパと子どものランチ道 場(全4回)」、短期講座「パパ・マ マがもうダメとなる前に〜東洋医学 編〜」(大人8名 子ども5名参				活動指標	講座開作	崔数(回)			
14	的な役割分担意識の払拭のため	割分担意識の歴史的背 景やその後の経緯、今な	人権·男女共 同参画課	涯	共働き世帯、子育て世代対象	畑)・短期講座「発達障害・グレー ゾーンの気になる子の中高生時代	_	継続	共働き世帯、子育て世代対象の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	の学習機会の提供と充実	お根強く残る実態を知 り、それらの解消に向け	生涯学習課	習課	の講座を開催する。	にコレはしとこうやめとこう」(40名 参加)を実施。子育てにおける悩み		ne nyu	講座を開催する。	目標	-	Ι	I	1	I	ı
	INC. IIX	た講座を開催する。		1000		や気がかりに感じていることについ て、性別を問わず考える機会となっ				実績	0	ı	0	2	3	
						た。				評価	-	В	D	Α	Α	
		思春期から妊娠・出産 期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課	人 権		(∩「フェムテックってなぁに?」(8)				活動 指標	講座開作	崔数(回)			
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	男女	ライフステージに応じた講座を	人参加) ②「乳がん予防セミナー&リラッ	日標粉に達しなかったため	継続	ライフステージに応じた講座を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13	応じた啓発	定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行		共 同	開催する。	クス椅子ヨガ」(24人参加)	日本数に建しなりがたには	<u> </u>	開催する。	目標	-	3	3	3	3	3
		う。	生涯学習課	参画						実績		3	I	5	2	
				課						評価	_	В	С	Α	С	
		思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課	福		「認知症の人を支える家族のつ				活動 指標	啓発の	実施				
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	祉政	老人クラブの会議等において、 性別による固定的な役割分担	どい」において、直接的ではないがテーマとして、介助は女性だけ	_	継続	老人クラブの会議等において、 性別による固定的な役割分担		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13	応じた啓発	定的な役割分担意識の		策課	意識の払拭に向けた啓発を行う。	がするものではなく、男女ともに行うものとして啓発を行った。		<u> </u>	意識の払拭に向けた啓発を行う。	目標	_	ı	-	1	1	-
			生涯学習課	試		1] 7ものとして存光を1] うた。				実績	-	-	-	-	-	
										評価	_	D	В	В	В	
		思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課	子	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】 (施策番号5)	パパママ教室の参加を通じて。 男性に家事・育児など家庭での			(施策番号5) パパママ教室等の参加を通じて	活動 指標	開催回	数(クー	ル)※1:	フール=3	3回	
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	ど も		役割意識を働きかけた。 パパママ教室:全6クール終了	_	継続	男性に家事・育児など家庭での役割意識を持ってもらうようにす		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
15	応じた啓発	定的な役割分担意識の	子ども家庭課	家庭	での役割意識を持ってもらうよ	(うち日曜日開催3回)		<u> ምር</u> ድ	る。	目標	-	6	6	6	6	6
		払拭に向けた啓発を行 う。	人権教育課 生涯学習課	課	うにする。 パパママ教室:3回1クール 年	参加人数(延):妊婦172人、 パートナー102人			パパママ教室:3回1クール 年間6クール開催予定。	実績	6	6	6	6	6	
					間6クール開催予定。					評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施してい	(上、B:		战、C:目		
		思春期から妊娠・出産 期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課	介						活動 指標	実施場所	听(力所)			
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	護保	【施策番号5と同じ】	【施策番号5と同じ】	【施策番号5と同じ】	継続	【施策番号5と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13	応じた啓発	定的な役割分担意識の	子ども家庭課 人権教育課	険課	We was a selection	が必然はもっている。	が必然はもっている。	NCL N/L	THE STOCK OF	目標	-	2	2	2	2	2
			生涯学習課	本						実績	2	1	2	2	Ι	
										評価	_	С	В	В	С	
		思春期から妊娠・出産期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課		男女共生教育に関するリーフ	男女共生教育リーフレットを全			男女共生教育に関するリーフ レットを作成し、小中学校へ配付	活動 指標	男女共生(校)	生教育に	に関する	リーフレ	ット配布	校数
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	権教	レットを作成し、小中学校へ配付する。	小中学校に配付するとともに、 男女共生教育担当者会で、活		継続	する。 対象学年:小学1年生·小学5年		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
13	応じた啓発	定的な役割分担意識の払拭に向けた啓発を行		教育課	対象学年:小学 年生·小学5 年生·中学2年生	用方法などを説明した。実施後、 活用アンケートを行い、取組み状		和生 称近	生・中学2年生 R8年度に向けて、対象学年の	目標	_	36	36	36	36	36
		う。	生涯学習課	試	4 4 4 7 2 4 1	況の確認をした。			追加(小学校中学年)と、各学 年の内容改訂を進める。	実績	36	36	36	36	36	
										評価	-	В	В	В	В	
		思春期から妊娠・出産 期、高齢期等のライフス	人権·男女共 同参画課	生		短期講座「赤ちゃんのための夏 対策講座」(12名参加)・「中学 生でもわかる!はじめての株・投				活動 指標	講座の領	実施回数	枚(回)			
15	ライフステージに	テージに応じた講座等	福祉政策課 介護保険課	涯学		資」(6名参加)・「親子で学ぶはじめての投資の基本のき」		継続	各年代に応じた、固定的な役割 分担意識の払拭に向けた講座		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
15	応じた啓発	定的な役割分担意識の	子ども家庭課	習	座を開催する。	(大人6名・子ども9名参加)・ 「パパ・ママがもうダメとなる前		和生物 化	が担急職の抵抗に同じた調座を開催する。	目標	_	25	25	3	3	3
			人権教育課 生涯学習課	課		に~東洋医学編~」(大人8名				実績	20	15	I	3	4	
						子ども5名参加)				評価	_	С	С	В	Α	
	市職員·指定管	施設運営に関わる人の		人 権 ·						活動 指標	職員研	修の実施	拖(回)			
	理者等、施設運	男女共同参画意識を高めるための研修を実施	人権·男女共	男女	職員研修を実施する際に、研修 内容以外にも男女共同参画に	職員研修の際に、大阪府発行の 「男女共同参画社会の実現をめ		/nk /r=	職員研修を実施する際に、研修 内容以外にも男女共同参画に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
16	営に関わる人への学習機会の提	するとともに、指定管理者に従業員研修を義務	同参画課 施設所管課	共同		ざす表現ガイドライン」について案内した。	-	継続	関するトピックについて周知していく。	目標	-	20	7	7	7	7
	供	付ける。		参画		72. 30.00				実績		31	8	8	8	
				課						評価	_	Α	Α	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		或、C:目		
		関係団体と協力して、事業所に対して性別による		人 権 ·		男性育休をテーマとした「きしわだ男女共同参画フォーラム」や、				活動 指標	情報発信	信回数((回)			
17		固定的な役割分担意識 の払拭に向けた研修会	人権·男女共 同参画課	男女	性別による固定的な役割分担 意識の払拭に関する講座を実	アンコンシャスバイアスについての内容も含んだ「ハラスメント防	_	継続	性別による固定的な役割分担 意識の払拭に関する講座を実		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	機会の提供	様々な手段を活用して	産業政策課	共 同	施する際、企業支援メールマガ ジンで開催の周知を行う。	止研修」(岸和田商工会議所と 共催)の開催について、事業所		THE NO.	施する際、企業支援メールマガ ジンで開催の周知を行う。	目標	_	ı	- 1	-	ı	ı
		事業所に情報発信を行 う。		参画		メールマガジンで周知を行った。				実績		0	-1	2	2	<u> </u>
				課						評価	-	D	В	Α	Α	
		関係団体と協力して、事 業所に対して性別による		産	【施策番号8】 ●「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座				【施策番号8】 ●「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内	活動 指標	情報発信	信回数((回)			
17		固定的な役割分担意識 の払拭に向けた研修会	人権·男女共 同参画課	業政	内容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等か	他の講座内容が優先されたた	実施できなかったため。	継続	容案の候補として検討する。 ●人権・男女共同参画課等から		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	機会の提供	様々な手段を活用して	産業政策課	策課	らの依頼により、講座参加事業所に対して性別による固定的	め、実施できなかった。	Kill Ceram Mentals	THE NO.	の依頼により、講座参加事業所に対して性別による固定的役割	目標	_	2	2	2	2	2
		事業所に情報発信を行 う。		BK.	役割分担意識の払拭に関する 情報発信を行う。				分担意識の払拭に関する情報 発信を行う。	実績	0	0	1	0	0	<u> </u>
				<u> </u>	1.000				1	評価	_	D	С	D	D	<u> </u>
		情報発信の際は、男女		•	●広報物やホームページ作成 の際には、性別による役割分担				●広報物やホームページ作成の際には、性別による役割分担意	活動 指標	意見交持	換				
18	性別による固定 的な役割分担意	共同参画の視点をもち、	人権·男女共 同参画課	男女	意識を助長する表現とならないよう、課内で十分協議を行う。	●講師依頼の際、イラストや使	_	継続	識を助長する表現とならないよう、課内で十分協議を行う。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
, ,	識を助長する表 現の見直し		関係各課	共同	「男女共同参画社会の実現を	用する色や言葉について、大阪 府の表現のガイドラインへの配		THE HOLD	●講座の講師に、大阪府発行 「男女共同参画社会の実現をめ	目標	_	-	-	-	ı	_
		CCV/ & V ACALCY S.		参画	めざす表現ガイドライン」への 配慮を依頼する。	慮を依頼した。			ざす表現ガイドライン」への配慮 を依頼する。	実績		-	-	_	-	<u> </u>
				課						評価	_	В	В	В	В	
		関係団体と連携し、市・		人 権 ·		岸和田商工会議所と共催で、事業所対象「ハラスメント防止研修~心理的安全性のある職場				活動 指標	推進体制	制の整体	備			
19	市·市民·事業 者·教育関係者	市民・事業者・教育関係 者が協働して本プランを		男女	岸和田商工会議所と連携し、	づくり~」を開催した。商工会議 所の会報誌発送時にチラシを同		継続	岸和田商工会議所と連携し、事 業所等にセンター主催講座の周		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
14	による推進体制 の整備	推進する体制を整備す	関係各課	共同	事業所対象に講座を開催する。	封してもらったり、岸和田市人権 啓発企業連絡会会員にチラシを		利企 形 定	知を行う。	目標	_	-	-	-	-	-
		ి		参画		送付したりして、開催について周知を行った(11/26開催・26人				実績		-	-	-	-	
				課		参加)。				評価	-	В	В	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		成、C:目		
				人 権 ·	●各課の男女共同参画推進本	●実務担当者選任依頼の際に、担 当長以上から選任するよう依頼し た。 ●小・中・高校生への意識調査に			●プランの中間見直しのため各 課にヒアリングを実施し、男女共	活動指標	推進体	制の充実				
20	進本部による推	プランの着実な実施の ため、男女共同参画推	全課	男女	ら選任するよう依頼し、プランの	●小・中・高校生への息誠調査に ついては、学校現場での円滑な実 施のため、特に人権教育課と綿密	_	継続	同参画推進本部実務担当者を中心に、プランの推進体制を強		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
20	進体制のさらな る充実	進本部による推進体制 を強化する。	工政	共同	推進体制を強化する。 ●重点目標の推進のため、関	な連携を行った。岸和田商工会議所との共催講座については、産業			化する。 ●重点目標の推進のため、関係	目標	-	-	-	-	-	-
				参画	係課にはたらきかける。	政策課でのチラシ配架、人事課と 庁内周知について調整するなど、各			課にはたらきかける。	実績		-	-	-	-	
				課		課と連携を図った。				評価	_	В	В	Α	Α	<u> </u>
		市職員が男女共同参画			人権問題研修の機会を活用	以下①、②の研修を実施した。 ①無意識の思い込みをテーマと した人権研修『マンガと偏見の			人権問題研修の機会を活用し、		計画的		尾施体制	の検討・	整備(石	开修参
21	市職員の意識の	意識をもって施策や日常の業務を進めるため	人事課 人権·男女共	人事	し、男女共同参画をテーマとし た研修ができないか検討する。	複雑な関係一登場人物の"見た目"と"話し方"から考えるー』を		継続	男女共同参画をテーマとした研修ができないか検討する。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
21	向上	に、職員研修等を通じて 意識の向上を図る。	同参画課 全課	課	人権や男女共同参画、その他 の課題について、関係各課と連	R7年3月に実施した。 ②泉北泉南合同研修において	_	林生 称记	人権や男女共同参画、その他の 課題について、関係各課と連携	目標	-	ı	_	-	-	-
		息職の向上を図る。			携した研修体制を検討する。	安性活躍推進をテーマとした研修をR7年3月に実施した。			した研修体制を検討する。	実績	_	103	151	118	92	
						修を尺/平3月に美施した。				評価	_	С	В	В	В	
		市職員が男女共同参画		人 権 ·	職員の1/3を対象とした男女	7·8·9·10月に参事以下の職 員対象とした男女のニーズの違				活動 指標	職員研	修の実施	拖(回)			
21	市職員の意識の	意識をもって施策や日常の業務を進めるため	人事課 人権·男女共	男女	のニーズの違いに配慮した避 難所運営に関する研修を実施	いに配慮した避難所運営に関する研修を実施し、197人が参加		継続	人事課と協力し、新規採用職員 及び採用5年目の職員を対象		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
21	向上	に、職員研修等を通じて	同参画課 全課	共同	する。研修実施日を複数日設け、参加日を選択できるように	した。研修実施日を複数日設		本在本元	に、職員研修を行う。	目標	-	20	7	7	7	2
		意識の向上を図る。		参画	する。	け、参加日を選択できるようにした。				実績		31	8	8	8	
				課						評価	-	Α	Α	Α	Α	
				人 権 ·		男女共同参画推進本部幹事・				活動指標	男女共	司参画写	美務担当	i者研修	の実施回	回数
22	各課で男女共同 参画を推進する	男女共同参画に関する 施策を円滑に推進する	人権·男女共 同参画課	男女	男女共同参画推進本部実務	実務担当者を対象に「男女共同参画の基礎知識」(eラーニン		継続	男女共同参画推進本部実務担		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
22	参画を推進する リーダーの育成	リーダーを育成すため、 研修を実施する。	向麥 画課 全課	共 同	担当者研修を実施する。	グ)を実施した。受講者 123人	_	不全的 它	当者研修を実施する。	目標	-	I	I	1	I	ı
				参画		からアンケートの回答があった。				実績	I	I	I	- 1	Ι	
				課						評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	从上、B:		战、C:目		
		業務に関連づけて考え				研修の時間帯を午前と午後の2				活動指標	研修の	充実				
23		られる研修内容にしたり、参加しやすい時間帯	人事課 人権·男女共	人事	研修内容を講義形式のみなら ず受講生同士が意見交換を行	部制で実施した。また、研修時間内に質疑応答の時間を設け	_	継続	研修内容を講義形式のみなら ず受講生同士が意見交換を行		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
25	加促進	に開催するなど、職員研修の内容や方法を工夫	同参画課	課	い、情報を共有できる場を設ける。	る等、疑問に感じたことを解消する場を設けた。		THEE HALL	い、情報を共有できる場を設ける。	目標	_	-	-	-	-	_
		する。				C BX V / / C o				実績	_	-	_	-	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		業務に関連づけて考え		人 権 ·						活動 指標	研修の	充実と参	加促進			
23		られる研修内容にしたり、参加しやすい時間帯		男女	【施策番号21と同じ】	【施策番号21と同じ】	_	継続	【施策番号21と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
23	加促進	に開催するなど、職員研修の内容や方法を工夫	同参画課	共 同		心水田与乙〇円〇』		<u> ጉ</u> ር ነሃር	心水田与乙〇円〇』	目標	-	-	-	-	-	_
		する。		参画						実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	
		男女共同参画社会の実		人 権		●男女共同参画センター登録グ ループに講師を依頼したり、岸 和田商工会議所やNPO法人こ				活動 指標	講座開	催回数(回)			
24		現に向けて、男女共同 参画意識の醸成、スキル	人事課 人権·男女共	男女	男女共同参画社会の実現に向けて、多種多様な講座を開催す	こからKitとの共催講座を企画 するなど、関係団体との共催講	_	継続	男女共同参画社会の実現に向けて、多種多様な講座を開催す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
24	と充実	アップ、男性の家事参加 等、多種多様な講座を	同参画課	共同	る。	座を複数回実施した。 ●シネマ・デ・シエスタを開催し、		<u> ጉ</u> ር ነሃር	る。	目標	-	45	45	27	27	27
		開催する。		参画		男女共同参画センターの周知を 行い、男女共同参画に関する情				実績		24	26	30	34	
				課		報を発信した。				評価	_	С	С	Α	Α	
		男女共同参画センター		人 権 ·		●男女共同参画センターニュース「クレアシオン」を年4回発行し、男女共同参画センターでの					男女共発行回		2ンター-	ニュース	「クレアシ	ンオン」
25		そのものの存在と役割を周知するとともに、男	人権·男女共	男女	男女共同参画センターニュース 「クレアシオン」で、講座情報、	講座レポートや、男女共同参画		如红	男女共同参画センターニュース 「クレアシオン」で、講座情報、国		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
25	消散光信の拡入	女共同参画についての	同参画課	共同	国の動向に関する情報発信を 行う。	白書に関する記事を掲載した。 ●各方面で活躍する女性リーダ	う D 画 。 - 継続 ヴ	の動向に関する情報発信を行 う。	目標	-	6	6	4	4	4	
		様々な情報発信を行う。		参画		ーへのインタビュー記事を掲載 し、女性活躍事例について情報		≤N+ ≤=		実績		6	6	4	4	
				課		発信を行った。				評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		女性の様々な不安や悩 みを解消するとともに自		人権・日	下記の相談を実施する。 ①カウンセラーによる女性のため の面接相談 ②カウンセラーによる女性のため	①女性のための面接相談:10 件 ②女性のための電話相談:128			下記の相談を実施する。 ①カウンセラーによる女性のための 面接相談 ②カウンセラーによる女性のための	活動指標	電話・面	i接相談	件数(件	-)		
26	相談機能の強化	立を支援するため、電話相談・面接相談を実施	人権·男女共	男女:	の電話相談 ③カウンセラーによる男性のため	件 ③男性のための電話相談: 件	_	継続	電話相談 ③カウンセラーによる男性のための		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
		する。また、気軽に相談 できるようSNS等を使っ	同参画課	共同	の電話相談 ④DV相談	④DV相談: 166件 ⑤困難な問題を抱える女性のた			電話相談 ④DV相談	目標	_	200	200	200	200	200
		た手法を検討する。		参画	⑤困難な問題を抱える女性のための相談(DV以外)	めの相談 (DV以外):65件 ⑥女性の弁護士による法律相			⑤困難な問題を抱える女性のため の相談(DV以外)	実績		290	261	237	394	ļ
				課	⑥女性の弁護士による法律相談	談:24件			⑥女性の弁護士による法律相談	評価	-	Α	Α	Α	Α	
		男女共同参画社会の実 現をめざした活動や学 習を行い、一定の要件を		人 権 ·	●脊録グループの活動の場の	●			●脊録グループの活動の場の	活動 指標	登録グリ	レープ数	(団体数	女)		
27	登録グループの	満たした団体を、登録グ ループとして認定し、学	人権·男女共	男女	提供 ●活動成果を発表するため、	ペープ・人阪及の会 泉南方面」の 会員を講師に招き、「希望まんじゅ う作りとジャーナリストの先駆け 羽	グループの新規登録がなく、目標の登録グループ数(団体数)	継続	提供 ●活動成果を発表するため、		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
21	育成・支援	習や会合などの活動の 場の提供や情報提供、	同参画課	共同	● 活動成果と光表するため、 「合同まつり」を開催する。 ● 共催講座の開催。	仁もと子」を開催した(17人参加)。	に達しなかったため	₹ <u>₹</u>	「合同まつり」を開催する。 ●共催講座の開催	目標	_	11	12	12	13	13
		活動等のアドバイス、器 材の貸出し等の支援を		参画	一	●登録グループ「おじさんきっちん きしわだ」の活動報告をセンター誌			● 大作神座の用作	実績		11	12	12	12	
		行う。		課		クレアシオン2月号に掲載した。				評価	_	В	В	В	С	<u> </u>
		男女共同参画が、どの 程度進んだのか、検証 できるよう、実施計画作		人 権 ·	評価がC・Dの場合、目標に達				評価がC・Dの場合、目標に達し	活動指標	検証方法	法を含め	た実施	計画のエ	文案	
28		成時には、できるかぎり、数値目標を設定し、数値	△細	男女	しなかったり実施できなかった	実績報告作成時に、評価の理由を明確に記入してもらえるように	_	継続	なかったり実施できなかった理由を明確に記入してもらい、施		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
20	案	による評価を行う。数値	土酥	共同	施策の推進方法について検討			不 全 初近	策の推進方法について検討す	目標	-	-	-	-	-	-
		目標を設定できないものは、評価の理由を明		参画	する。				5 .	実績		-	-	-	-	
		確にする。		課						評価	-	В	В	В	В	
		男女共同参画推進本部 会議や幹事会、実務担		人 権 ·					前年度末に実施計画を作成し、	活動指標	効果的*	な進行管	計理			
29	男女共同参画推進本部による進	当者会において、進捗状況を把握するとともに、	人権·男女共	男女	前年度末に実施計画を作成	前年度中に実施計画を作成し、 年度当初からプラン推進に取り		⟨№ ⟨±	年度当初からプラン推進に取り 組む。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
29	進本部による進 行管理	懸案事項や課題などを 共有することで、効率	同参画課	共同	し、年度当初からプラン推進に取り組む。	年度当初からノフン推進に取り 組んだ。		本性 称 定	プラン中間見直しのため、関係	目標	-	-	-	-	-	-
		的·効果的な進行管理 を行う。		参画					各課へのヒアリングを実施する。	実績		-	-	_	_	
		/ 0		課						評価	-	С	В	В	В	

施舞	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	100	目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		男女共同参画推進審議 会においては、客観的な		人権・日		幹事・実務担当者会・研修の際					客観的7	な立場が	らの評値	価·意見	の反映	方法の
30		立場から計画の進捗状況を検証し、懸案事項や	人権·男女共	男女	審議会後に幹事会・実務担当 者会を開催し、審議会での意	に、審議会での意見共有を行った。	_	継続	審議会後に幹事会・実務担当 者会を開催し、審議会での意見		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
30	進行管理	課題について助言を行いながら進行管理を行	同参画課	共同	見を共有する。	また、審議会ではプランの進捗 状況を考慮して、翌年度の重点		THE HYL	を共有する。	目標	-	-	_	-	-	-
		う。		参画		目標について議論を行った。				実績		ı	_	-	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	
		子ども一人ひとりが性		産業					人権・男女共同参画課協力のも と、啓発資料等を教諭・生徒に	活動 指標	男女共生	生教育⊄	D推進			
31	小·中·高校での 男女共生教育の	別にとらわれることなく 自分らしく生きていくこと	課	高校	人権・男女共同参画課協力の もと、啓発資料等を教諭・生徒	男女共生やLGBTQについて授			配布する。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
31	充実	ができるよう、年齢に応 じた男女共生教育の取		学務	に配布する。	業で取り上げた			制服のリニューアルに併せ、男 女とも同様のデザインを選択で	目標	-	Ī	_	-	-	_
		組を進める。		課					きるようにする。	実績	-	-	-	-	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		子ども一人ひとりが性		学	「特別の教科 道徳」において、	道徳教育推進教師連絡会を実施し、道徳科における重点的な			「特別の教科 道徳」において、		「特別の 寧に指導				內容項目	を丁
31	小·中·高校での 男女共生教育の	別にとらわれることなく 自分らしく生きていくこと	課	校 教		取組みについて共有した。参加 者は36名。また、道徳教育研修	_	継続	誰に対しても分け隔てをせず、公 正、公平な態度で接することに		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	充実	ができるよう、年齢に応 じた男女共生教育の取		育課		会を実施し、「考え、議論する道徳」について研修を行った。参加		742.77	ついて丁寧に指導するよう、各校に周知する。	目標	_	-	_	_	-	_
		組を進める。		四本	11/2/19/19 7 08	者は41名。			1X1~1PJ X= 7 00	実績	_	-	_	_	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		子ども一人ひとりが性								活動 指標	男女共	生教育に	⊂関する!	リーフレッ	ット配布を	校数
31	小·中·高校での 男女共生教育の	別にとらわれることなく 自分らしく生きていくこと		権教	【施策番号15と同じ】	【佐笠妥旦」にレロい】		⋞⊯ ⋞ 士	【佐笠乗旦」にレロい】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
31	カ女共生教育の 充実	ができるよう、年齢に応 じた男女共生教育の取		育		【施策番号15と同じ】	_	継続	【施策番号15と同じ】	目標	-	36	36	36	36	36
		組を進める。		課						実績		36	36	36	36	
										評価	-	В	В	В	В	

施第番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	上、B:		成、C:目		
	性別による固定	性別による固定的な役		産業						活動指標	啓発資料	科等の酢	己布			
32	的な役割分担意識にとらわれな	ることなく進路を選択で	産業高校学務 課	高校		啓発資料の配布を行った。 就職者、進学者とも性差をつけ	_	継続	人権・男女共同参画課協力のも と、啓発資料等を教諭・生徒に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
52	い進路指導・キャリア教育	きるよう、系統的・継続 的なキャリア教育を行	学校教育課 人権教育課	学務	に配布する。	ることなく進路を紹介している。		THEE HOL	配布する。	目標	_	-	-	-	-	_
	77 9X FI	う。		課						実績	_	-	-	-	-	
										評価	_	В	В	В	В	
	性別による固定	性別による固定的な役		学	各校園が「キャリア教育年間計画」に基づいた進路指導・キャリア教育を進めること、また				各校園が「キャリア教育年間計 画」に基づいた進路指導・キャリ	活動 指標	「キャリフ	ア・パスだ	ポート」 活	舌用の推	進	
32	的な役割分担意	ることなく進路を選択で	産業高校学務 課	· 校 教	「キャリア・パスポート」を活用	キャリア教育の担当者会を計画的に実施。「キャリアパスポート」	_	幺唑幺=	ア教育を進めること、また「キャリ ア・パスポート」を活用すること		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
52	い進路指導・キャリア教育	きるよう、系統的・継続 的なキャリア教育を行	学校教育課 人権教育課	育課		も、全校で活用が進んでいる。		THEE HOL	等により固定的な役割分担意識 にとらわれることなく進路を選択	目標	-	1	1	-	-	_
	77 30 8	う。 		本	的・継続的なキャリア教育を行う。				できるよう、系統的・継続的な キャリア教育を行う。	実績	-	-	-	-	-	
					7.0					評価	_	В	В	В	В	
	性別による固定	性別による固定的な役		人	男女共生教育担当者会や人権				キャリア教育担当者会において、	活動 指標	男女共名	主教育担	担当者会	等への	参加者数	女(人)
32	的な役割分担意識にとらわれな	ることなく進路を選択で		権 教	よる固定的な役割分担意識に	めざす学校づくり」を配付、説明 し、固定的な性別役割分担意識	成したリー 画社会を 配付、説明 分担意識 _ 4#4	継続	幼稚園、小学校、中学校、高校と 発達段階に応じて、自分らしい		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	い進路指導・キャリア教育	きるよう、系統的・継続 的なキャリア教育を行	学校教育課 人権教育課	育課	ア教育について、各教職員の共	にとらわれないための教材を紹 介するなどした。また、府民意識		170	生き方を実現する力を育むことをめざす。	目標	_	61	61	61	59	58
	77 50 15	う。		卟		調査や子どもたちの生活白書な どのデータを活用し、国の動向			2 47 6 7 8	実績	61	61	61	61	59	
						なども紹介した。				評価	-	В	В	В	В	
		子ども一人ひとりが男 女共同参画の意識を育		人 権 ·		幼稚園・保育所9園に対して、出 前講座を開催。性別による思い 込みを払拭したり、性別に関わ				活動 指標	教育委員	員会との	情報共	有		
33	性別による固定的な役割分担意	み、固定的な役割分担	人権·男女共 同参画課	男女	幼稚園・保育所(園)等で、子	らず自分が興味を持ったことに 挑戦できるということを伝えた。	_	公坐 公丰	幼稚園・保育所(園)等で、子ど		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
33	識の解消	能力や個性を尊重した 生き方を選択できるよう	人権教育課	共同		が戦くさるということを伝えた。 また、講座実施後に講師、教諭・ 保育士間で振り返りを行い、講	による思い 別に関わ ったことに を伝えた。 - 継続 善師、教諭・ を行い、講	补生 水 汇	もを対象に講座を開催する。	目標	_	-	ı	-	-	
		生さんを選択(さるよう) 教育を行う。		参画		座の目的や効果などについて、				実績		-	ı	-	-	
				課		情報共有を図った。				評価	_	В	В	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		子ども一人ひとりが男 女共同参画の意識を育		人						活動 指標	男女共	生教育に	に関する!	リーフレッ	小配布4	校数
33	性別による固定的な役割分担意	み、固定的な役割分担	人権·男女共 同参画課	権教	【施策番号15と同じ】	【施策番号15と同じ】	_	継続	【施策番号15と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
33	識の解消		人権教育課	育課	が必然留う「ひと同じ」	100次留 ラーコンドロン		THE NO.	が必然留う「ひと同じ」	目標	-	36	36	36	36	36
		教育を行う。		歃						実績	36	36	36	36	36	
										評価	_	В	В	В	В	
		教職員に対し、大阪府 等が実施する教育現場	人権·男女共	人 権 ·		幼稚園・保育所9園に対する出前講座実施後に、講師、教諭・				活動 指標	研修の	実施回数	女(回)			
34		において必要となる各種 研修(子に関する人権	同参画課 子育て施設課	男女	*****	保育士間で振り返りを行い、講 座の目的や効果などについて、	_	継続	教職員などを対象に、子どもに 接する際に必要な視点を学ぶた		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
54	提供	研修合む)に関りる八権 研修含む)に関し情報 提供を行い、学習機会	教育総務部総 務課	共 同	ための研修を実施する。	情報共有を図った。 教職員対象研修は実施年度で		<u> ጉ</u> ር ነሃር	めの研修を実施する。	目標	_	1	_	Ι	-	-
		を提供する。	人権教育課	参画		教職員対象研修は天池年及じないため、実施せず。				実績		1	-	8	-	
				課						評価	-	В	-	Α	-	
		教職員に対し、大阪府 等が実施する教育現場	人権·男女共	子		●保育所等の職員に男女共同参 画に関する職員研修を周知し、研 修参加を促したが、参加者はなかっ			●保育施設等の職員に男女共 同参画に関する職員研修を積 極的に周知し、研修への参加を	活動 指標	男女共 (人)	司参画に	に関する	研修会へ	の参加	人数
34		において必要となる各種	同参画課 子育て施設課	育て		で。 ●保育所長会で人権・男女共同参 画課の出前講座の案内をし、11園	目標の人数を下回ったため。	継続	促すとともに、各保育施設等で研修内容の共有を図る。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
54	提供	研修含む)に関し情報 提供を行い、学習機会	教育総務部総 務課	施設	●関係課と協力して男女共同	中、10園の保育所から参加の申し込みがあった。そのうち6園で出前	11507人数と「ロ 7/こ/この。		●関係課と協力して男女共同 参画に関する研修の開催や情	目標	-	214	20	20	20	20
		を提供する。	人権教育課	課		講座を実施し、16人の保育所職員が講座及び講座後の振り返りに参			報提供について検討する。(保 育所等施設)	実績	-	0	0	34	16	
					月川守他政)	加した。			月川 守他政)	評価	_	D	D	Α	С	
		教職員に対し、大阪府 等が実施する教育現場	人権·男女共	教育	教職員に対し、大阪府等が実				教職員に対し、大阪府等が実施	活動 指標	研修に	関する情	報提供			
34	教職員・保育士	において必要となる各種 研修(子に関する人権	同参画課 子育て施設課	総務	施する教育現場において必要	人権問題研修「ヤングケアラー の現状と課題」開催案内を通知	_	継続	教職員に対し、人間が守が美地 する教育現場において必要となる各種研修(子に関する人権研		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
34	提供	研修含む)に関し情報	教育総務部総 務課	部総	権研修含む)に関し情報提供	(8月)	-		修含む) に関し情報提供を行	目標	_	-	-	-	-	-
		提供を行い、学習機会 を提供する。	人権教育課	務課	を行い、学習機会を提供する。				い、学習機会を提供する。	実績	-	ı	-	١	-	
				DI.						評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容			(上、B:		·価 或、C: 目: 数値化で		
		教職員に対し、大阪府 等が実施する教育現場	人権·男女共	人	【施策番号32·33参照】	男女共生教育担当者会で、大 阪府教育委員会が作成したリー フレット「男女共同参画社会を			【施策番号32·33参照】	活動指標	男女共名	生教育担	旦当者会	きい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	参加者数	女(人)
34	*****	において必要となる各種 研修(子に関する人権	同参画課 子育て施設課	権教	男女共生教育担当者会や人権教育研修会等を実施すること	めざす学校づくり」を配付、説明 し、固定的な性別役割分担意識	_	継続	男女共生教育担当者会や人権教育研修会等を実施すること		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
54	提供	研修合む)に関し情報 提供を行い、学習機会	教育総務部総 務課	育課	で、さまざまな課題に沿った学習の機会を提供する。	にとらわれないための教材を紹 介したり、人権教育研修会では、			で、さまざまな課題に沿った学習の機会を提供する。	目標	_	61	61	61	59	58
		を提供する。	人権教育課	試		性の多様性に関する研修等、教 職員に対する学習機会を提供し			の成云と近伏する。	実績	61	61	61	61	59	
						た。				評価	_	В	В	В	В	
		保護者に対して男女共		人 権 ·		「きしわだ男女共同参画フォーラム」(44人参加)、「スマホ時代				活動 指標	講座開作	崔回数(回)			
35	保護者への学習	同参画の視点を取り入 れた研修会や講演会を	人権·男女共 同参画課	男女		のこども達のために~ネット犯罪 の被害者にも加害者にもならな		継続	保護者や地域で子どもに関わる		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
33	機会の提供	開催するなど、学習機会を提供する。	人権教育課 生涯学習課	共 同	2	い!~」(14人参加)、「親子で サイエンス・クッキング」(37人	_	於 生 於記	人を対象とした講座を開催する。	目標	_	-	2	-	2	-
		を提供する。		参画		参加)、「親子で日曜大工」(18 人参加)を開催した。				実績		-	2	7	4	
				課						評価	_	-	Α	Α	Α	
		保護者に対して男女共		人	「人権を守る作品展」の実施や 「人権作品集なかま」を作成	12/6~ 2/8「人権を守る作品展」をマドカホールで実施した。			「人権を守る作品展」の実施や 「人権作品集なかま」を作成し、	活動 指標	作品展	来場者数	女(人)			
35	保護者への学習	同参画の視点を取り入 れた研修会や講演会を	人権·男女共 同参画課	権教	し、配付する。	3月中に「人権作品集なかま」を 作成し、各学校園を通じて保護	実施した。 なかま」を リンプ保護	継続	配付する。 子どもたちの作品を通じて、能		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
33	機会の提供	開催するなど、学習機会を提供する。	人権教育課 生涯学習課	育課	力や個性を尊重することの大切さ、人権感覚の向上等につ	者に配付し、差別を許さない基 盤づくりや人権感覚の向上を図			力や個性を尊重することの大切さ、人権感覚の向上等について	目標	_	1200	1200	1200	1200	1200
		と提供する。		試	いて学ぶ機会とする。	り、多様性を尊重する大切さに ついて学ぶ機会とした。			学ぶ機会とする。	実績	1100	1158	1259	1201	1362	
										評価	_	С	Α	В	Α	
		保護者に対して男女共		生		家庭教育学級の学級生を増や すため、家庭教育学級合同学習 会「親子のタイムマネジメント~				活動 指標	新規家原	庭教育等	学級数			
35	保護者への学習	同参画の視点を取り入 れた研修会や講演会を	人権·男女共 同参画課	涯学	家庭教育学級の活動を支援す	魔法のスケジューリング術~」 (参加者35名)を実施。子ども	_	从张 然志	家庭教育学級の活動を支援す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
33	機会の提供	開催するなど、学習機会を提供する。	人権教育課 生涯学習課	習課	る。また、学級生を増やすため、 合同学習会を実施する。	ではなく保護者自身も自己 実現のためにタイムマネジメント	合同学習 ジメント~ グ術~」	THE THE	る。また、学級生を増やすため、 合同学習会を実施する。	目標	_	I	ı	1	I	I
		と1天伏りる。		訊		を実行する大切さとコツについ				実績	0	ı	Ι	1	ı	
						て学んだ。				評価	_	В	В	В	В	

施策 番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		子どもたちが性別による 固定的な役割分担意識 にとらわれず、その能力		人権・一						活動 指標	研修の領	実施回数	效(回)			
36	地域で子どもに関わる人への学		人権·男女共 同参画課	男女	【施策番号35と同じ】	【施策番号35と同じ】	_	継続	【施策番号35と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	習機会の提供	できるよう、地域で子どもに関わる人たちに対し		共同	Make Josephol	TABLE TOOCH TO		THE HOLD	Mayer 100ch10	目標	_	-	2	-	2	_
		て研修会や講演会を開催する。		参画						実績		-	2	7	4	<u> </u>
		IE 7 00		課						評価	_	-	В	Α	Α	<u> </u>
		仕事と子育て、仕事と介 護等の両立のための制	人事課							活動 指標	各種制度	度の情幸	服発信			
37	仕事と子育て、 仕事と介護の両	度について、様々な手段		人事	各種制度について全職員への 周知を行う。また、休暇取得予	各種制度について、全職員が確認できるよう、庶務研修資料とし		継続	各種制度について全職員への 周知を行う。また、休暇取得予定		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
37	立等に関する支 援体制の充実	る。また、多様な働き方	産業政策課 関係各課	課	定者及び所属長に対し、個別 に制度の説明を行う。	てデータで共有できた。		利性 羽 む	者及び所属長に対し、個別に制 度の説明を行う。	目標	_	-	-	-	-	_
		をする。	以际合体							実績	_	-	-	-	-	<u> </u>
										評価	_	D	В	В	В	
		仕事と子育て、仕事と介 護等の両立のための制	人事理	人 権 ·	介護や子育てに関する講座開	「働き方改革推進支援助成金 (労働時間の削減や年次有給			介護や子育てに関する講座開	活動 指標	各種制度	度に関す	ける情報	提供		
37	仕事と子育て、 仕事と介護の両	度について、様々な手段		男女	催の際に、各種制度の案内チラシ、パンフレット等を配布し、	休暇の促進に向けた環境整備 に取り組む中小企業事業主支		継続	催の際に、各種制度の案内チラシ、パンフレット等を配布し、仕事		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
37	立等に関する支 援体制の充実	る。また、多様な働き方	産業政策課 関係各課	共同	仕事との両立支援に関する情 報提供を行う。	援制度)」や、IO月の「年次有 給休暇取得促進期間」につい		THE NO.	との両立支援に関する情報提供を行う。	目標	_	ı	-	_	ı	_
		をする。	以际合体	参画	#KI在I六 € 11 7。	て、事業所メールマガジンで情報提供した。			213 / 0	実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	
		仕事と子育て、仕事と介 護等の両立のための制	/ 电油	産	【施策番号8参照】				【施策番号8参照】	活動 指標	情報発信	信回数((回)			
37	仕事と子育て、 仕事と介護の両	度について、様々な手段	人権·男女共	業	他機関からの依頼により、「雇	他の講座内容が優先されたた	中サデキナル、ナナル	6 hk 6 ±	他機関からの依頼により、「雇用		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
3.1	立等に関する支 援体制の充実	る。また、多様な働き方	同参画課 産業政策課	策	用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座参加者	め、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座参加者に	目標	-	2	2	2	2	2
		を選択できる環境整備をする。	関係各課	課	に対して情報発信を行う。				対して情報発信を行う。	実績	0	I	I	0	0	
										評価	-	С	С	D	D	

施針番	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		龙、C:目		
		女性の就職・再就職や		人権・日						活動指標	講座開作	崔数(回)			
38	学習機会の提	起業に関する講座を開	人権·男女共 同参画課	男女		実施年度でないため、実施せ	_	継続	女性の就職・再就職や起業に関		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	供·情報提供		産業政策課	共同	ため、実施しない予定。	ず。		THE THE	する講座を開催する。	目標	_	3	-	3	-	3
		D(7 %)		参画						実績		3	-	3	-	
				課						評価	_	В	-	В	-	
		女性の就職・再就職や		産	資格取得講座を開催し、就労				資格取得講座を開催し、就労支	活動 指標	セミナー	参加者	数(人)			
38	学習機会の提	起業に関する講座を開	人権·男女共 同参画課	業政	支援を行う。(取得可能資格: 介護職、フォークリフト)また、必要に	介護職員初任者研修では、女性 が7名参加した	会加人物が小なかったため	継続	援を行う。(取得可能資格:介護 職、フォークリフト)また、必要に応じ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
30	供·情報提供	11	産業政策課	策課	応じて「岸和田ビジネスサポートセンター Kishi-Biz (キシビ	が7名参加した。	多が八数なうななったにはら		て「岸和田ビジネスサポートセン ター Kishi-Biz(キシビズ)」な	目標	_	75	75	75	75	75
		1 1X		武	ズ)」などを紹介する。				どを紹介する。	実績	70	46	16	6	7	
										評価	-	С	С	С	С	
		就職や再就職、起業を	人格·甲女共	人 権 ·						活動 指標	講座開作	崔数(回)			
39		希望する女性を対象に、		男女	【施策番号38と同じ】	実施年度でないため、実施せ	_	継続	【施策番号38と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
34	の支援	開発やスキルアップのための講座等を開催する。	子育て支援課	共同		ず。		和生 形论	心泉街与300円し	目標	-	3	-	3	-	3
		(a)の神座寺を用作する。	性 素以 尔 球	参画						実績		3	1	3	-	
				課						評価	_	В	-	В	-	
		就職や再就職、起業を	人棒・里 廿 土	生			生活保護受給者等就労自立促			活動 指標	4月1日	時点の	就労支援	受対象者	の就職国	率(%)
39		希望する女性を対象に、		活福	て、将米的に目立てきるよう、就	就労支援対象者に対して、早期自立につながるよう、就労支援	進事業実施計画における岸和 田市の就職目標数で定められ	公 此 公主	生活保護受給中の女性に対し て、将来的に自立できるよう、就		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
39	の支援	開発やスキルアップのた	子育て支援課	祉	労支援プログラムを利用して就 労の機会を増やす。	目立につなかるよう、就労支援 プログラムの利用を促した。	ている就職率を目標値に定めているが、その目標達成までには	おける岸和 で定められ 標値に定めて 継続	労支援プログラムを利用して就 労の機会を増やす。	目標	-	67	67	67	67	67
		めの講座等を開催する。	産業政策課	課			至らない。			実績	53.1	56.2	52.6	52.5	50.8	
										評価	-	С	С	С	С	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		成、C:目		
		就職や再就職、起業を	人権・男女共	子	【R6より子ども家庭課から子育て支援 課へ移管】 自立して安定した生活を送るために資 格取得をめざすひとり親家庭の母およ				自立して安定した生活を送るため に資格取得をめざすひとり親家庭 の母および父に対し、就職に繋がる	活動指標	支給者	数(人)				
39		希望する女性を対象に、		育て	び父に対し、就職に繋がるキャリアアップ研修受講に対する給付金を支援する		_	継続	キャリアアップ研修受講に対する給付金を支援するとともに、ハロー		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	の支援	開発やスキルアップのための講座等を開催する。	子育て支援課	支援	とともに、ハローワークと連携して就労 支援を行う。	自立支援教育訓練給付金事業 支給申請件数:5件		-	ワークと連携して就労支援を行う。	目標	-	30	30	30	30	30
		5 - 5 Big / 2 G C 7 Big 2 7 G C) I SICE X SICE II	課	【該当給付金事業 】·高等職業訓練 促進給付金事業 ·自立支援教育訓練				【該当給付金事業 】·高等職業訓練促進給付金事業 ·自立支援教育訓練給付金事業	実績	32	33	37	33	30	
					給付金事業				育訓練給竹 金 事業	評価	-	Α	Α	Α	В	
		就職や再就職、起業を	人権・里士共	産	【施策番号38】 資格取得講座を開催し、就労				【施策番号38】 資格取得講座を開催し、就労支	活動 指標	セミナー	-等参加	者数(人	.)		
39		希望する女性を対象に、		業政	支援を行う。(取得可能資格: 介護職、フォークリフト)また、必要に	佐笙乗旦20V 回り	施策番号38と同じ	継続	援を行う。(取得可能資格:介護職、フォークリフト)また、必要に応じ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
37	の支援	開発やスキルアップのた	子育て支援課	策	応じて「岸和田ビジネスサポー	応東省530と同じ	地東省与30と同じ	补 全 补分	電、ハーハアリョル、必要に応じて「岸和田ビジネスサポートセンター Kishi-Biz(キシビズ)」な	目標	-	75	75	75	75	75
		めの講座等を開催する。	座耒以東誄	課	トセンター Kishi-Biz (キシビズ)」などを紹介する。				ジー KISNI-BIZ(キシピス)」などを紹介する。	実績	70	46	16	6	7	
										評価	-	С	С	С	С	
		就職・再就職・起業を希		人 権 ·		大阪府が作成した、育児・介護				活動指標	情報提供	供のしく	みづくり			
4.0		望する人が、必要な情報		男女		などがあっても働き続けることを		継続	大阪府や岸和田公共職業安定		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	業を支援する仕 組みづくり	を得ることができる仕組みづくりについて検討す		共同	所等の各種案内について情報 コーナーに配架し周知する。	や、離職者等再就職訓練の案内	-	补 本於元	所等の各種案内について情報 コーナーに配架し周知する。	目標	-	-	-	-	1	-
		る。 		参画		を情報コーナーに配架している。				実績	-	-	-	-	1	
				課						評価	-	В	В	В	В	
		就職・再就職・起業を希		産	貝塚合同就職面接会」や「きし	市ホームページで、「岸和田・貝 塚合同就職面接会」や「きしわ			市ホームページで、「岸和田・貝 塚合同就職面接会」や「きしわ	活動指標	情報発信	信回数((回)			
40		望する人が、必要な情報を得ることができる仕組		業政	わだ就職フェア」、各種資格取 得講座の情報を発信する。ま	だ就職フェア」、各種資格取得 講座の情報を発信している。ま	該当する事業が少なかったた	継続	だ就職フェア」、各種資格取得		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	美を文援する仕 組みづくり	みづくりについて検討す		策		た、ハローワークや関係機関の 情報や他機関による関連講座	.	水 生 称冗	講座の情報を発信する。また、ハローワークや関係機関の情報や	目標	-	12	12	12	12	12
		ీ ం		課		の情報に関するURLを掲載した。			他機関による関連講座の情報 に関するURLを掲載する。	実績	8	9	5	7	5	
										評価	-	С	С	С	С	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		男女共同参画の視点を		人 権 ·		●岸和田商工会議所と共催で、 事業所対象に「ハラスメント防 此研修、を開催した(11/26				活動 指標	研修会の	の実施・	情報提信	共(回)		
41	事業所への学習	活かした企業経営のた	人権·男女共 同参画課	男女	る。	開催・26人参加) ●男女共同参画センターで開		継続	男女共同参画センターで開催する講座のうち、関連するものにつ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
41	機会の提供	るなど、事業所に対して		共同	催する講座のうち、関連するも	催する講座のうち、関連するもの		<u> ጥር</u> ድ	いて、事業所に情報提供を行う。	目標	-	I	ı	I	I	ı
		学習機会を提供する。		参画	のについて、事業所に情報提供を行う。	について、人企連や商工会議所、メールマガジンを通じて、事				実績		I	0	3	3	
				課		業所に情報提供を行った。				評価	-	В	D	Α	Α	
		B. 4047-11-4		産						活動指標	当該テ-	-マの講	座開催	回数		
	事業所への学習	男女共同参画の視点を活かした企業経営のた	人権·男女共	業	「雇用労働講座」や「知って得	他の講座内容が優先されたた			「雇用労働講座」や「知って得す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
41	機会の提供		同参画課 産業政策課	政策	する労働問題講座」の講座内 容案の候補として検討する。	め、実施できなかった。	実施できなかったため。	継続	る労働問題講座」の講座内容案 の候補として検討する。	目標	-	ı	ı	I	ı	1
		学習機会を提供する。		課						実績	0	0	ı	0	0	
										評価	_	D	В	D	D	
		国の動向・新たな制度		人 権 ·						活動指標	情報発信	信回数(回)		l	
42	女性活躍推進に	について、絶えずアンテ	人権·男女共	男女	広報やホームページ、「企業支	国の動向や制度について、ホームページやメールマガジンで情		継続	広報やホームページ、「企業支		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
42	関する情報発信	ナを張り、必要な情報をわかりやすく事業所に伝	同参画課	共同	援メールマガジン」で、情報発信を行う。	報発信を行った。	-	补 图	援メールマガジン」で、情報発信 を行う。	目標	-	3	3	3	3	3
		える。		参画						実績		0	3	5	3	
				課						評価	-	D	В	Α	В	
	「えるぼし認定」	厚生労働省が認定する 「えるぼし」「くるみん」		人 権 ·		車業でイールフガンシップ「大阪				活動 指標	制度普	及のため	の取組			
4.2	「くるみん認定」制度の周知と普	制度に関する情報を事	人権·男女共	男女	「えるぼし認定」「くるみん認 定」に関する制度について市内	府男女いきいき事業者表彰」		⟨№ ⟨±	「えるぼし認定」「くるみん認定」 に関する制度について市内事業		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
43	制度の周知と音 及の仕組みづく	に、市独自の優良企業	同参画課 契約検査課	共同	事業者に対して広く情報提供 を行う。	組む事業者を表彰) について周	生活躍推進に積極的に取り - 継続	者に対して広く情報提供を行う。	目標	-	-	-	-	-	_	
	"	の表彰制度について調 査·研究する。		参画		知し、虭機付けの機会を作った。 		継続に		実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	С	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		战、C:目		
	「えるぼし認定」	厚生労働省が認定する 「えるぼし」「くるみん」		契						活動 指標	総合評	価競争)	入札の落	札者決	定基準の	の検討
43	「くるみん認定」	制度に関する情報を事	人権·男女共 同参画課	約	令和6年の総合評価入札において落札者決定基準の評価項	令和6年度実施した総合評価入 札において、入札参加者の「える	_	継続	引き続き、次回(令和8年)の総 合評価入札において落札者決		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
43			契約検査課	査課	目とする。	ぼし」「くるみん」認定取得の有無を評価し、加点対象とした。		和生 形让	定基準の評価項目とすることを 検討する。	目標	-	_	-	ı	-	_
	,	査・研究する。		酥						実績	_	-	-	1	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		「一般事業主行動計		人 権 ·						活動 指標	情報発	信回数((回)			
44		画」についての情報や、計画策定に関する国の	人権·男女共	男女	一般事業主行動計画について の情報や、国の支援に関する情	企業支援メールマガジン(3月)		継続	一般事業主行動計画について の情報や、国の支援に関する情		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
44	計画の周知・各	すどに関する国の 支援についての情報を 事業所に発信する。	同参画課	共 同	報を、企業支援メールマガジン 等で発信する。	にて発信した。	_	杯 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於 於	報を、企業支援メールマガジン 等で発信する。	目標	-	I	I	-	I	I
		争果所に発信する。		参画						実績		0	2	1	Ι	
				課						評価	-	D	Α	В	В	
		市内事業所における男 女共同参画に関する意		人 権 ·						活動 指標	調査の	実施(回	1)			
45	事業所における 男女共同参画に	識調査を実施する。平成 30年度実施の調査と比	人権·男女共	男女	令和5年度に市内事業所に対 して、男女共同参画に関する意			継続	実施予定なし		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
45	関する意識調査 の実施	較し、進んだ点や課題を 整理し、今後の施策に活	同参画課	共同	識調査を実施済			和生 称近	天旭 1 足なし	目標	-	-	-	ı	-	-
		を理じ、学後の他東に活 かす。		参画						実績		-	-	ı	_	
				課						評価	_	-	-	В	-	
		一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動			時間外勤務の考え方、休暇や	長時間の時間外勤務を行っている 職員とその所属長に対し実績報告 を行い、時間外勤務削減のための			時間外勤務の考え方、休暇や育	活動 指標	年次有9数(回)		仅得促進	に関する	る文書送	5付回
46	市職員・教職員 へのワーク・ライ	がバランスよく調和した 生活ができるよう、市職	人事課 人権·男女共	人事		業務改善等を検討してもらう。ノー 残業デーを設定し、定時退庁を促		幺坐 幺	児休業の取得など、変わりつつあるライフスタイルの情報収集を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	フ・バランスに関する理解促進	員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促	同参画課 教育総務課	課	集を行い、本市職員の現状を 把握し、必要に応じ情報発信を	す。また出退勤システムの取組として、一定時間以上の時間外勤務時		継続	行い、本市職員の現状を把握	目標	-	- 1	I	- 1	- 1	- 1
		進するための情報発信 を行う。			行う。	間を行っている職員に対し警告文章が表示され、また対象者がリスト			し、必要に応じ情報発信を行う。	実績	I	-	I	_	_	
						化されるように設定している。				評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		式、C:目		
		一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動		人 権 ·		きしわだ男女共同参画フォーラ				活動指標	情報発信	信回数((回)			
46	へのワーク・ライ	がバランスよく調和した 生活ができるよう、市職		男女	リーグ・フィブ・ハフンスに関す	ム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを	_	継続	ワーク・ライフ・バランスに関する 講座を開催する際に、市職員・		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	フ・バランスに関する理解促進	フ・バランスの理解を促		共同	員・教職員へ周知を行う。	考える~」について、人事課と協力し庁内各課へ周知。職員の参		NEL NYL	教職員へ周知を行う。	目標	_	_	ı	- 1	_	- 1
		進するための情報発信 を行う。		参画		加につながった。				実績		0	ı	- 1	- 1	
				課						評価	-	D	В	В	В	
		一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動		教育	仕事と家事・育児・地域での活				仕事と家事・育児・地域での活	活動 指標	ワーク・・	ライフ・ノ	ヾランス (に関する	情報提信	洪
46	へのワーク・ライ	がバランスよく調和した 生活ができるよう、市職	人権·男女共	総務		ができるよう、市職員・教職員に	_	継続	動がバランスよく調和した生活をめざし、ワーク・ライフ・バラン		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	フ・バランスに関する理解促進	員・教職員にワーク・ライフ・バランスの理解を促		部総	等の機会などを通じ、ちらし等	ワーク・ライフ・バランスの理解を 促進するための情報発信を行っ		<u> </u>	スの理解を深めるための、研修 等の機会などを通じ、ちらし等で	目標	_	-	-	_	-	-
		進するための情報発信を行う。		務課	で情報発信を行う。	た(6月)			情報発信を行う。	実績		-	-	_	-	
										評価	-	В	В	В	В	
	市民・事業所へ	一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動		人 権 ·		きしわだ男女共同参画フォーラ				活動指標	講座開作	催数(回	1)			
47		がバランスよく調和した生活ができるよう、講座	人権·男女共 同参画課	男女	ワーク・ライフ・バランスに関す	ム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを	_	継続	ワーク・ライフ・バランスに関する		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
47	る学習機会の提	等を開催し、ワーク・ライ	産業政策課 生涯学習課	共同		考える~」を開催した(44人参	-	林坠 称 定	講座を開催する。	目標	_	-	1	_		-
	供	フ・バランスの理解を促 進する。		参画		加)。				実績		-	1	4		
				課						評価	_	-	В	Α	В	
	市民・事業所へ	一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動		産		●9月4日に「雇用労働講座」にて 「ハラスメント対策」についての講 座を実施した。参加者は49名だっ			一人ひとりが仕事と家事・育児・	活動 指標	当該テ-	ーマの讃	捧座開催	回数		
47	のワーク・ライフ・	がバランスよく調和した	人権·男女共 同参画課	業	【施策番号41】	た。 3月5日に「知って得する労働問		ON O±	地域での活動がバランスよく調		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
4.7		生活ができるよう、講座等を開催し、ワーク・ライ	産業政策課 生涯学習課	政策	する労働問題講座」の講座内	題講座」にて「職場のメンタルへス ケアやメンタルヘルス不調による休		松 稅	和した生活ができるよう、講座等を開催し、ワーク・ライフ・バラン	目標	-	I	I	ı	-	I
	供	フ・バランスの理解を促 進する。		課		職者の職場復帰に向けた支援」に ついての講座を実施した。参加者は	タルヘス による休 支援」に		スの理解を促進する。	実績	0	0	ı	0	2	
						41名だった。				評価	_	D	В	D	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		战、C:目		
	市民・事業所へ	一人ひとりが仕事と家 事・育児・地域での活動		生	(仕車な) ブハス / が会加 やす	短期講座「魅せるwalking」(8 名参加)を日曜に、「ゆうきゆう 先生のこっそり素早く『言い返す			仕事をしている人が参加しやす	活動指標	講座の	実施回数	效(回)			
47		がバランスよく調和した生活ができるよう、講座	人権·男女共 同参画課	涯		技術』(大人21名、子ども1名)を土曜に実施。	_	継続	いように、平日夜間や土日に、趣味や地域の課題解決等、ワー		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
7,		等を開催し、ワーク・ライフ・バランスの理解を促	産業政策課 生涯学習課	習課		学び舎ネットワーク事業「公民館 キャンドルナイト〜キャンドル作り		THEE HIJE	ク・ライフ・バランスのための講座を開催する。	目標	-	ı	_	-	-	I
		進する。		一	7 HT/IE 2 1711 E 7 2 8	&演奏会~」(59名)を日曜夜 に実施。			/E = (7) E 7 %	実績	- 1	1	3	2	3	
						7.7.060				評価	-	В	Α	Α	Α	
		「時間外勤務の適正管 理に関する指針」に定め			産業医面談の実施や、周囲か	時間外勤務の適正管理に関する指針により、 時間外勤務の事前命令を徹底させ、定時退 庁日・週休日・休日に出勤する際には、事前			産業医面談の実施や、周囲から	活動 指標	全職員間)※編			:間数(て	ハとりあ た	こり時
48		られた取組事項を進めるとともに、効率的、効果	人事課	人事	らの声掛けを行うなど、時間外勤務を可視化させ、自他ともに	の報告書の提出を義務付けている。また、月 45時間超の職員がある場合や、年間360時		継続	の声掛けを行うなど、時間外勤 務を可視化させ、自他ともに気		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	削減	的な業務の進め方を考え、時間外勤務の削減		課		間超の職員がある場合には、報告書の提出 を義務付け、時間外勤務の事由および縮減 方法を検討してもらっている。		和生 形立	付きを促すための取組みを行う	目標	-	93	93	85	85	85
		を図る。			11 7.0	また、8月を「働き方改革推進強化月間」として定時退庁の取組を実施した。			7.0	実績	93	108	126	127	124	
										評価	_	С	С	С	С	<u> </u>
		「時間外勤務の適正管 理に関する指針」に定め		教育	学校の管理職や職場代表、教	業務負担軽減会議を開催し、継			学校の管理職や職場代表、教育	活動 指標	教職員	の時間タ	卜勤務削	減方法の	の検討	
48	市職員・教職員の時間外勤務の	られた取組事項を進めるとともに、効率的、効果	人事課	総務	育委員会関係課と協議を行い、業務負担軽減策を検討す	続して協議を重ねている。 長時間労働が常態化している教		継続	委員会関係課と協議を行い、業 務負担軽減策を検討する。また、		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	削減	的な業務の進め方を考え、時間外勤務の削減		部総	る。また、産業医による職員との個別面談を実施する。	員及び高ストレス職員を対象 に、産業医面談を実施した。		和生物 化	産業医による職員との個別面談を実施する。	目標	-	-	-	-	-	-
		を図る。		務課	個別面談を美施する。				を美施する。	実績		-	-	1	-	
				DK.						評価	-	В	В	В	В	
		所属長が取得促進を推	人事領		職員に向けた年次有給休暇の 取得促進を呼びかけるととも に、所属長にも各職員の年次	4月~3月末時点の有給休暇取			職員に向けた年次有給休暇の 取得促進を呼びかけるとともに、 所属長にも各職員の年次有給	活動指標	年次有	給休暇の	D平均取	得日数		
4.0	市職員・教職員	奨し、職場全体で相互	人権·男女共	人	有給休暇の取得状況を把握してもらいながら、ワーク・ライフ・	得者数1,416人、総取得時間は		Onk 6±	休暇の取得状況を把握してもら		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
49	の計画的な有給 休暇取得促進	することで、計画的な休	同参画課 教育総務課	課	バランスに留意してもらう。また、労働基準法に基づく「年5	147,532時間。(※正職・再任用職員のみ、看護師等、小中学	-	継続	いながら、ワーク・ライフ・バランスに留意してもらう。また、労働	目標	-	10	10	10	11	11
		暇取得の促進を図る。	全課		日の年次有給休暇の取得」について周知についても徹底す	校幼稚園職員は除く)			基準法に基づく「年5日の年次 有給休暇の取得」について周知	実績	9.6	11.9	14	15	13.4	
					3.				についても徹底する。	評価	-	Α	Α	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		式尼目 1.5班/周/12/14 + #	/ 市 - 神	人 権 ·						活動指標	情報発信	言回数(回)			
ΛQ	市職員・教職員の計画的な有給	所属長が取得促進を推 奨し、職場全体で相互 応援できる体制を整備	人争缺 人権·男女共 同参画課	男女	計画的な年次有給休暇取得のために職員相互の理解を促進	庁内情報紙「パートナー」を発 行できず、有給休暇取得促進に	「パートナー」を発行できず、庁 内への周知機会がなかったた	継続	計画的な年次有給休暇取得のために職員相互の理解を促進		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
47	休暇取得促進	することで、計画的な休	教育総務課全課	共 同	する。	関する情報発信はできなかった。	め。	利性 羽 む	する。	目標	_	1	ı	1	1	ı
		成状はの佐庭で図る。	主体	参 画						実績	_	0	0	0	0	<u></u>
				課						評価	_	D	D	D	D	<u></u>
		所属長が取得促進を推	人事理	教育						活動 指標	年5日 <i>の</i>)年次有	給休暇耳	取得者率	率(%)	
49		奨し、職場全体で相互	人権·男女共 同参画課	総務		教職員(市職員)に対し、休暇取得を促すための通知を行った	_	継続	夏季等の長期休業中における		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
47	休暇取得促進	することで、計画的な休	教育総務課全課	部総	る。	(12月)。		THE HOL	年次有給休暇取得を推奨する。	目標	_	100	100	100	100	100
		"松林村"从走上回话。	主政	務 課						実績		91	100	100	100	<u></u>
										評価	_	С	В	В	В	<u></u>
		国の動向・新たな制度		人権・一		「働き方改革推進支援助成金 (労働時間の削減や年次有給				活動 指標	研修会の	の実施・	情報提信	共(回)		
50	事業所における 働き方改革の推	について、絶えずアンテ ナを張り、必要な情報を	人権·男女共 同参画課	男女	事業所に対して、国の動向等の		_	継続	事業所に対して、国の動向等の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
50	進	ナを張り、必要な情報を わかりやすく事業所に伝 え、事業所における働き	産業政策課	共同	情報提供を行う。	援制度)」や、IO月の「年次有 給休暇取得促進期間」につい		THE HOL	情報提供を行う。	目標	_	-	I	1	-	I
		方改革の推進を図る。		参 画		て、事業所メールマガジンで情報提供した。				実績		1	0	1	2	
				課						評価	_	В	D	В	Α	<u> </u>
		国の動向・新たな制度		産						活動 指標	情報発信	言回数(回数)			
E0	事業所における 働き方改革の推	について、絶えずアンテ ナを張り、必要な情報を	人権·男女共 同参画課	業政	国の動向や新たな制度等について、「企業支援メールマガジ	実体できたかった	実体できたかったため	継続	国の動向や新たな制度等について、「企業支援メールマガジ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
50	働さり以中の推 進	わかりやすく事業所に伝え、事業所における働き	同参画課 産業政策課	策	ン」登録事業者に対して情報 発信する。	実施できなかった。	実施できなかったため。	杯	ン」登録事業者に対して情報発 信する。	目標	-	2	2	2	2	2
		方改革の推進を図る。		課						実績	0	3	3	3	0	
										評価	-	Α	Α	Α	D	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		地域活動やボランティア		自	市民活動サポートセンターにお	地域活動やボランティア活動への参加を促すため、地区市民協議会や市民活動団体の活動について、は			地域活動やボランティア活動へ の参加を促すため、今後も地区 市民協議会や市民活動団体の	活動 指標	交流スク	ペースの	利用者	数(人)		
51	地域活動やボラ ンティア等への	活動への支援、情報発信、交流会の開催、交流	自治振興課 人権·男女共	治振		報発信を行った。	_		活動について、広報きしわだやホームページで、情報発信を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	参加促進のため の仕組みづくり	スペースの提供等を行	同参画課 関係各課	興課	会の開催、交流スペースの提	め、市民活動サポートセンターで、 チラシ作成講座を開催した。			行っていく。 また、団体の情報発信力向上の	目標	-	500	500	500	500	500
		7.		歃	W 5 13 78	市民活動サポートセンターで、活動 団体と活動したい人の橋渡しをし			ための講座等の開催も検討していく。	実績	498	258	340	500	1000	
						<i>t</i> =.			· · · · ·	評価	_	С	С	В	Α	
		地域活動やボランティア		人 権 ·		「男の居場所〜地域デビューの				活動 指標	活動への	の参加係	足進			
51	地域活動やボラ ンティア等への	活動への支援、情報発	自治振興課 人権·男女共	男女	男性の居場所づくりの講座を 開催し、参加者の交流を促し、	コツ教えます!」講座を開催し、		61k 6±	男性の居場所づくりの講座を開催し、参加者の交流を促し、地域		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
51	参加促進のため の仕組みづくり	信、交流会の開催、交流スペースの提供等を行	同参画課 関係各課	共同	地域での活動に関心をもつ きっかけを作る。	参加者に交流の場を提供、公民 館等での講座・活動事例を紹介	-	継続	での活動に関心をもつきっかけ を作る。	目標	-	ı	-	-	-	-
		7.		参画		した。				実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	С	В	В	В	
				人 権 ·		センター登録グループ「大阪友の会 泉南方面」の会員を講師に迎えた「希望まんじゅう作りと				活動 指標	紹介記	事掲載回	回数(回))		
52	市民団体に関す	各課が所管している市 民団体に関する情報を	人権·男女共 同参画課	男女		ジャーナリストの先駆け 羽仁もと子」講座について、クレアシオン		継続	男女共同参画センターニュース 「クレアシオン」でセンターの登		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
52	る情報発信	様々な手段を通じて発 信する。	関係各課	共同		T 調座に パ・(、) レテンタン I 月号にレポートを掲載した。ま た、クレアシオン2月号にて、登録		本在 本元	録グループの活動を紹介する。	目標	_	6	6	2	2	2
				参画		グループ「おじさんきっちん」の 活動報告を掲載した。				実績		3	-	2	2	
				課		活動報告を掲載した。				評価	-	С	С	В	В	
		「岸和田市附属機関へ		人 権 ·	審議会所管課に対して、女性				審議会所管課に対して、女性委	活動 指標	参画率[句上のた	めの具	体策の共	共有	
53		の女性の参画促進に関 する指針」に基づき、女	人権·男女共 同参画課	男女	委員比率の目標値達成に向け	女性委員比率の目標達成にあたり、工夫している点・困難と感	ている点・困難と感 - 継続	糾结	質比率の目標値達成に向けて エ夫した点や困難な理由を聞き		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
55	の具体的な取組 の実施	性委員比率の目標値の 達成に向けた具体的な	関係各課	共同		じている点について照会をした。		取り、工夫したことで良い取り組 みがあれば共有する。	目標	-	ı	-	-	_	_	
		取り組みを実施する。		参画	双ソ組みがめれは共有する。			1.2.172	かかめれは共有する。	実績		-	_	-	_	
				課						評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		成、C:目		
				人 権 ·						活動 指標	参画促	進の働き	かけ			
54	意思決定の場に おける女性の参	審議会等附属機関以外 の様々な意思決定の場	人権·男女共 同参画課	男女	審議会等附属機関以外の会議体の委員についても、男女バラ		成果として結果に表れなかった	継続	審議会等附属機関以外の会議 体の委員についても、男女バラ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
0 1	画の促進	においても、積極的に女 性の参画を促進する。	関係各課	共同	ンスよく選任するようはたらきか ける。	れなかった。	ため。	ne nyu	ンスよく選任するようはたらきか ける。	目標	-	-	-	_	-	_
				参画						実績		-	-	_	-	
				課						評価	-	В	D	D	D	<u> </u>
		管理職に必要な能力を			男女共同参画に関する研修を	【女性人数/全体人数】人/人 (R6.4.1時点) 部長級:4/30(13.3%)			男女共同参画に関する研修を	活動 指標	課長級の	の女性耶	战員の割	合(%)		
55		身につけるための研修 会等を開催するととも	人事課 人権·男女共	人事	開催するとともに、働きやすい	課長級:35/147(23.8%) 主幹級:53/160(33.1%)	女性の課長級職員数は減ったものの、部長級職員数は増加。し	継続	開催するとともに、働きやすい職場環境の整備を行い、管理職に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
55	の女性比率向上	に、働きやすい職場環境 の整備を行い、女性比	同参画課	課			かし、目標値に達していない。	<u> </u>	おける女性比率の向上をめざす。	目標	-	25	26	28	30	30
		率の向上をめざす。				部長:3/25(12.0%) 課長:17/83(20.5%)			7 0	実績	23.4	25.3	25.9	25.3	23.8	<u> </u>
						I (20.370)				評価	_	Α	С	С	С	<u> </u>
		管理職に必要な能力を		人権・日		男女共同参画推進本部幹事・ 実務担当者を対象に「男女共同 参画の基礎知識」(eラーニン				活動 指標	研修会の	の実施・	情報提信	共(回)		
55		身につけるための研修 会等を開催するととも	人事課 人権·男女共	男女	管理職経験者等を講師に招	グ)を実施した。 また、本部員研修は実施年度で	_	継続	女性比率の向上をめざし、管理 職に必要な能力を身につけるた		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	の女性比率向上	に、働きやすい職場環境 の整備を行い、女性比	同参画課	共同	き、研修会・講座を開催する。	ないため開催しなかったが、独 立行政法人 国立女性教育会館		70.75	めの研修会等を開催する。	目標	_	ı	- 1	I	- 1	I
		率の向上をめざす。		参画		主催の「女性活躍推進セミ ナー」の開催について、情報提				実績		0	Ι	I	Ι	
				課		供した。				評価	-	D	В	В	В	
		能力、適性のある女性の 教員に校長等から昇任		人 権 ·						活動 指標	教育委	員会への	動きか	ιţ		
56	校(園)長·教頭	試験の受験を促すととま	同参画課	男女	数容禾員今に働きかけた行う	実施計画作成時に、教育委員会に比率向上のための取組を		幺唑幺丰	教育委員会に働きかけを行う。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
50	の女性比率向上	の整備を行い、管理職の女性比率の向上をめ	教育総務部総 務課	共 同		依頼した。		<u> </u>	3人日女貝云に関されいど1〕)。	目標	-	ı	ı	-	ı	_
		です。		参画						実績		-	ı	_	ı	
				課						評価	-	С	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	7.0	目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		能力、適性のある女性の 教員に校長等から昇任		教育	能力、適性のある女性の教員 が昇任試験の受験の機会が奪	校長 小学校9名/24名(37.5%) 中学校3名/11名(27.2%) 高校1名/1名(100%)	中学校校長で昨年度比 名増、		能力、適性のある女性の教員が 昇任試験の受験の機会が奪わ	活動 指標	管理職の	の女性と	比率 (%))		
56	校(園)長·教頭	試験の受験を促すとともに、働きやすい職場環境	人権·男女共 同参画課	務	われないよう、また研修の機会	教頭 小学校5名/24名(20.8%) 中学校2名/12名(16.6%)	中学校教頭で昨年度比1名増 となったが、管理職全体の割合		れないよう、また研修の機会が得られるよう、平常時から情報		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	の女性比率向上	の整備を行い、管理職の女性比率の向上をめ	教育総務部総 務課	部総	報発信に努める。また、面談の	高校0名/2名(0%) 対象教員に対し、6月1日に昇任試験受験に	では、僅かに目標数値に届かなかった。		発信に努める。また、面談の機会などを通じ、昇任試験の受験を	目標	_	22	24	26	28	30
		ざす。		務課	験を促す。	関する情報発信を行った。 学校現場における校長との面談機会、市教 委との面談機会を活用し、試験の受験を促し	37.20		促す。	実績	20.3	23	25.7	24.3	27	<u> </u>
						<i>t</i> .				評価	_	Α	Α	С	С	<u> </u>
				人 権 ·						活動 指標	研修の	実施回数	女(回)			
57	男女共同参画推 進本部の本部	本部員·幹事に女性の 管理職の積極的な登用	人権·男女共	男女	【施策番号55と同じ】	【施策番号55と同じ】		継続	【施策番号55と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
57	員·幹事への研 修の実施	の必要性・効果について の研修を実施する。	同参画課	共 同	【他来番号332回し】			和生物 化	他東省も55と同じ	目標	-	_	-	1	-	I
				参画						実績		ı	-	ı	-	
				課						評価	_	В	-	В	-	
						新任課長への研修として、 ・議会対応研修 ・障害者差別解消法について				活動 指標	研修の	実施回数	女(回)			
58	市職員の女性管 理職の育成と能	管理職に求められる能力、適性を具体的に示	人事課 人権·男女共	人事	部下とのコミュニケーション研修や、メンタルヘルスに関する	・公務員倫理研修・マネジメント研修	_	経経	部下とのコミュニケーション研修 や、メンタルヘルスに関する研修		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
50	力開発	し、その能力を身につけ る研修を実施する。	同参画課	課	研修等を実施し、その他研修会 があれば積極的に周知を行う。	管理職リーダー研修として ・ペップトーク研修〜やる気を引			等を実施し、その他研修会があれば積極的に周知を行う。	目標	_	_	_	1	_	I
						き出す言葉の力~ を実施し管理職の能力向上に				実績	-	ı	I	I	I	
						努めた。				評価	_	В	В	В	В	
				人権・・						活動 指標	研修会(の実施・	情報提	共(回)		
58	市職員の女性管理職の育成と能	管理職に求められる能力、適性を具体的に示	人事課 人権·男女共	男女	【施策番号55と同じ】	【施策番号55と同じ】	継続 【施策番号:	【施策番号55と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
56	力開発	し、その能力を身につけ る研修を実施する。	同参画課	共 同				<u> </u>		目標	_	_	ı	ı	Ι	I
				参画			# ** うひと PJ しょ		実績		0	ı	0	Ι		
				課						評価	_	D	В	D	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	100	目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
										活動指標	性別にと	≤らわれ	ない能力	フを重視	した人員	〔配置
50	男女のバランス を考えた人員配	性別による固定的な役 割分担意識をなくし、能	人事課	人事	性別にとらわれず、能力を重視	女性の課長級の人数は減少し たものの、部長級・担当長級の	_	継続	性別にとらわれず、能力を重視		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
37	置	力を重視した人事配置 を行う。	八事酥	課	した人事配置を行う。	女性職員数は増加した。		<u> </u>	した人事配置を行う。	目標	_	-	-	-	-	_
										実績	_	-	_	-	-	
										評価	_	Α	Α	Α	Α	<u> </u>
		事業所に対して、男女共 同参画の視点を活かし		人 権 ·		女性活躍推進セミナーや男性の				活動 指標	研修会の	の実施・	情報提	共(回)		
60	管理職への女性 の登用に関する	た企業経営に関する情	人権·男女共 同参画課	男女	国の動向や講演会情報について、「企業支援メールマガジン」	仕事と育児両立セミナーなどさ まざまなイベントを開催するドー		継続	国の動向や講演会情報について、「企業支援メールマガジン」		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	事業所への啓発 と支援	女性の登用に積極的な事業所について広報紙		共 同	等で情報発信する。	ンdeキラリフェスティバルの案内 を企業支援メールマガジンで		<u> </u>	等で情報発信する。	目標	_	_	-	1	_	ı
		等で紹介する。		参 画		行った。				実績		ı	ı	I	I	$ldsymbol{f eta}$
				課						評価	_	В	В	В	В	<u> </u>
		事業所に対して、男女共 同参画の視点を活かし		産	男女共同参画の視点を活かし	毎月初めに、事業者や関係団体			男女共同参画の視点を活かし	活動 指標	情報発信	信回数(回数)			
60	管理職への女性 の登用に関する	た企業経営に関する情	人権·男女共 同参画課		た企業経営に関する情報等に	を対象に配信している企業支援メールマガジンに、管理職への	_	継続	た企業経営に関する情報等について、「企業支援メールマガジ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	事業所への啓発 と支援	女性の登用に積極的な事業所について広報紙			ジン」登録事業者に対して情報発信する。			NEL NYL	ン」登録事業者に対して情報発信する。	目標	_	2	2	2	2	2
		等で紹介する。		本	7. IL 9 30	る情報の出出と0日刊 がた。			10 9 00	実績		ı	ı	4	6	
										評価	-	С	С	Α	Α	
				人 権 ·		岩和田本書小年投道冒拉議				活動 指標	学習機会	会の提供	共(回)			
61		地域における男女共同 参画を進めるため、様々	人権·男女共	男女	出前講座などを通じ、地域での 男女共同参画の推進をはか	会、家庭教育学級、民生委員・		⋞⋫⋞ 幸	出前講座などを通じ、地域での		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
01	する学習機会の 提供	な機会を活用して講座 等を実施する。	同参画課	共 同	る。	男女共同参画センターの紹介や	員協議会の場において - 継続	市企 形 冗	男女共同参画の推進をはかる。	目標	_	20	2	2	2	2
				参画		土惟再座の情報提供を付った。				実績		13	2	3	3	
				課						評価	_	С	В	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		战、C: 目		
		地域において、性別に		人 権 ·	【施策番号1】	岸和田市青少年指導員協議			【施策番号1】	活動 指標	働きかり	けを行った	た回数(回)		
62	地域活動におけ る意思決定の場	よって役割を分けることなく、地域活動の役員に		男女	各種団体所管課の協力のも と、団体の会議等の場で、男女	会、家庭教育学級、民生委員・児童委員協議会の場において	_	継続	各種団体所管課の協力のもと、 団体の会議等の場で、男女共同		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
02	への女性の参画 促進	男女がバランスよく選出されるよう働きかける。		共同	共同参画に関するトピックにつ いて伝えるなど、情報提供に努	男女共同参画センターの紹介や主催講座の情報提供を行った。			参画に関するトピックについて伝 えるなど、情報提供に努める。	目標	_	2	2	2	2	2
		C1006 / js/j C // V / V /		参画	める。	工作的注》情形及所で行うた。			TE & C C TH TRUE INTO 20	実績	-	2	2	3	3	
				課						評価	-	В	В	Α	Α	
				人 権 ·							地域活調査の			共同参画	に関す	る実態
63		地域活動における男女 共同参画に関する状況	人権·男女共	男女	今年度は、実施年度ではない	実施せず		継続	プラン見直しに際し、関係団体		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
03	に関する実態調 査の実施	を把握するために、実態調査を実施する。	同参画課	共 同	ため、実施しない予定。	天心にす		和生形 论	等にアンケートを実施する。	目標	_	-	1	ı	-	ı
				参画						実績		-	1	-	-	
				課						評価	_	_	-	-	-	
		様々な活動の場で女性		人 権 ·						活動 指標	講座開作	催数(回)			
64	女性リーダーの	がリーダーシップを発揮 して活躍できるよう、リー	人権·男女共 同参画課	男女	今年度は、実施年度ではない	実施せず			女性リーダーに必要な様々な資 質や能力、技術を学べる講座を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
04	育成	ダーに必要な様々な資 質や能力、技術を学べる	生涯学習課	共同	ため、実施しない予定。	天心にす			開催する。	目標	_	2	-	2	-	2
		講座を開催する。		参画						実績		2	Ī	2	-	
				課						評価	_	В	1	В	-	
		様々な活動の場で女性		生		「ゆうきゆう先生のこっそり素早く 『言い返す技術(大人21名、子ども 1名)を実施。				活動 指標	講座開作	催数(回)			
64	女性リーダーの	がリーダーシップを発揮 して活躍できるよう、リー	人権·男女共 同参画課	涯	女性の社会進出に向けて、職 業能力向上系講座を開催す	家庭教育学級合同学習会公開講 座として「親子のタイムマネジメント	_	継続	女性の社会進出に向けて、職業		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
04	育成	ダーに必要な様々な資 質や能力、技術を学べる	内 参 曲 誄 生涯学習課	習	3.	~魔法のスケジューリング術~(参加者35名)を実施。子どもだけで		水 全 形定	能力向上系講座を開催する。	目標	_	I	- 1	I	I	I
		講座を開催する。		課		はなく保護者自身も自己実現のた めにタイムマネジメントを実行する				実績	0	ı	ı	3	2	
						大切さとコツについて学んだ。				評価	_	В	В	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	上、B:		战、C: 目:		
				人権・日	市内で活躍する女性について	男女共同参画センターニュース				活動 指標	の登録化	足進」		田市女作		
65		地域で活躍している人 材を見出し、「岸和田市	同参画課	男女	男女共同参画センターニュース「クレアシオン」などで紹介し、	「クレアシオン」を年4回発行し、 各方面で活躍する女性リーダー	_	継続	女性リーダーに必要な様々な資質や能力、技術を学べる講座を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	人材の発掘	女性人材バンク」への登 録を促す。	生涯学習課 関係各課	共同	女性リーダーの支援を行っていく。	へのインタビュー記事を掲載。女 性活躍事例について情報発信		70	開催し、支援を行う。	目標	_	-	-	-	-	_
				参画		を行った。				実績		-	-	-	-	<u> </u>
				課						評価	-	В	С	С	В	
		「岸和田市女性人材バ		人権・	必要があれば、ドーン財団の所				必要があれば、ドーン財団の所	活動 指標	制度の原	哥知				
66	人材バンクの整	ンク」の登録者を増やす ため、NO65で発掘した	人権·男女共	男女	有する「人材情報提供サービ	相談実績はなかったが、今後相 談があれば、ドーン財団の「人材 情報提供サービス」について情	坦沙宝徳がかかったため	継続	有する「人材情報提供サービス」(審議会や各種委員会の人		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	備	人材等に対して担当課 の協力を得て、登録の呼	同参画課	共同	ス」(番議会や各種委員会の 人材探し、研修の講師探しに利用できる)を紹介する。	情報提供サービス」について情 報提供する。	一日政大順がながりたける。	<u> </u>	村探し、研修の講師探しに利用できる)を紹介する。	目標	_	-	Ī	-	-	-
		びかけを行う。		参画	मा (एक) हमागा प्रकः				टिका टक्का प्रकः 	実績		-	-	_	-	
				課						評価	_	В	В	С	С	
		女性リーダーのネット		人 権 ·							令和5年 令和6年					ڏ
67	異業種交流によ る女性リーダー		人権·男女共	男女	【施策番号65と同じ】	【施策番号65と同じ】		継続	【状体系見/こと同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
67	のネットワークづ くり	せによる、新たな事業展		共同	他來做写03と同じ	他東省号03と同じ	_	林坠 称 定	【施策番号65と同じ】	目標	_	-	1	_	-	-
		開につなげる。		参画						実績		-	1	_	-	
				課						評価	_	D	D	D	В	
				人 権 ·		岸和田商工会議所と共催で、事 業所対象「ハラスメント防止研				活動指標	講座開作	崔数 (回)			
68		女性が様々な分野で能 力を発揮し活躍できるよ	人権·男女共	男女	女性のエンパワメントとして、就 労やコミュニケーションに関す	修~心理的安全性のある職場	目標の講座開催数に達しなかっ	⟨№ ⟨±	女性のエンパワメントとして、就		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
δØ			同参画課	共同	おやコミュニケーションに関する講座を開催する。	づくり~」を開催した。講演では、職場でのハラスメント防止に有	たため	杯胚 称冗	労やコミュニケーションに関する 講座を開催する。	目標	-	10	10	3	3	3
				参画		効なコミュニケーションの方法に ついて学ぶことができた。				実績		9	3	3	I	
				課						評価	_	С	С	В	С	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		DV窓口担当者会議の								活動指標	計画的	な研修す	尾施体制	の検討・	整備	
69	市職員への学習	担当者・各課の男女共	人事課 人権·男女共	人事	主幹級以下の全職員を対象と する人権問題研修においてDV	実施に向けて検討中だが協議	実施に向けて検討中だが協議	継続	主幹級以下の全職員を対象と する人権問題研修においてDV		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
07	機会の提供		同参画課	課	防止をテーマに実施を検討す る。	ができていない	ができていないため	THE HOL	防止をテーマに実施を検討す る。	目標	_	ı	Ī	-	-	_
		と大地する。								実績	_	-	-	-	-	
										評価	-	D	D	D	D	
		DV窓口担当者会議の		人 権 ·		DV窓口担当者会議を開催し、 27人が参加した。各課共通DV 被害者対応マニュアルについて				活動 指標	職員研	修·会議	の開催((回)		
69	市職員への学習	担当者・各課の男女共同参画実務担当者を中	人事課 人権·男女共	男女	相談窓口担当者会議を開催す	周知、DV等被害者への応対方 法や各課の支援方法について		継続	相談窓口担当者会議を開催す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
04	機会の提供		同参画課	共同	る。	情報共有を行った。また、困難女 性に関する支援調整会議の開		补生 的证	る。	目標	_	2	2	2	_	1
		と大地する。		参画		催の際は参加を依頼することが あるなど、新法についての説明				実績		2	ı	1	I	<u> </u>
				課		も行った。				評価	-	В	С	С	В	<u> </u>
		若い世代がDVについて		人 権 ·						活動 指標	デートD	V予防包	 発講座	開催回	数(回)	
70	中・高校生への	も被害者にもならないよ	同参画課 産業高校学務	男女	市立中学校・高等学校でデートDV予防啓発講座を実施す	「デートDV予防啓発講座」を8	_	継続	市立中学校・高等学校でデート		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	学習機会の提供	X 11130 1 3 - 10 1X	課 学校教育課	共同	る。	中学校で開催。		THE HOL	DV予防啓発講座を実施する。	目標	_	5	7	6	7	7
		提供する。	人権教育課	参画						実績		5	6	5	8	
				課						評価	_	В	С	С	Α	
		若い世代がDVについて		産業						活動 指標	DVに関	する講座	座や啓発	資料等の	の周知	
70	中・高校生への	も被害者にもならないよ	同参画課 産業高校学務	高校	DVに関する講座や啓発資料 等について教諭や生徒に周知	実施できていない	今年度は、性教育やSNSなど他 のテーマでの研修を実施したた	施したた。継続につ	DVに関する講座や啓発資料等 について教諭や生徒に周知す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	学習機会の提供		課 学校教育課	学	する。啓発講座の受講を勧奨する。	大/地ではていない	め、DVをテーマにした研修は出 来なかった	<u> </u>	る。啓発講座の受講を勧奨する。	目標	_	ı	ı	-	-	_
		提供する。	人権教育課	務課						実績	_	-	ı	-	-	
										評価	_	В	D	В	D	1

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	100	目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		若い世代がDVについて		学						活動 指標	デートD	V予防包	啓発講座	の活用値	促進	
70	中・高校生への	正しく理解し、加害者に も被害者にもならないよ		校教	各校園に対して子どもたちが 自尊感情を高め、相手にも優し	指導主事が各校園を訪問した 際、教職員に対して適宜指導を	_	継続	各校園に対して子どもたちが自 尊感情を高め、相手にも優しい		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	学習機会の提供	生に対して学習機会を	課 学校教育課	育課	い心をもてるような取り組みを 促進する。	行った。		THE HOL	心をもてるような取り組みを促進 する。	目標	_	-	-	-	-	_
		提供する。	人権教育課	一						実績	_	-	-	-	-	<u> </u>
										評価	_	В	В	В	В	<u> </u>
		若い世代がDVについて			●市内の中高生に対して、人 権教育や道徳教育等の教材を	●「女性に対する暴力をなくす 運動」の実施や大阪府、大阪府 配偶者等からの暴力の味い及			●市内の中高生に対して、人権	活動 指標	人権教育 供を行う		魯教育等	を学校』	通じて情	報提
70		正しく理解し、加害者にも被害者にもならないよ	産業高校学務	権教	各学校へ周知した。	び被害者支援ネットワークが主催するセミナーを各学校へ周知	人権・男女共同参画課と連携	継続	教育や道徳教育等の教材を各 学校へ周知する。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	学習機会の提供	う、市内の中学生・高校 生に対して学習機会を		教育課	携し、市内学校に対してデート	他するセミナーを谷字校へ局知した。 ●人権・男女共同参画課と連携	し、学習機会を提供したため。	杯 於定	●人権・男女共同参画課と連携 し、市内学校に対してデートDV	目標	_	ı	ı	-	-	_
		提供する。	人権教育課	誄	DV合光調座に 八、(同知) る。	●人権・男女共同参画課と連携 し、市内の中学校で「デートDV 予防啓発講座」を実施した。			啓発講座について周知する。	実績	-	-	1	-	1	
						「7'の召光神座」を夫施した。				評価	_	В	В	В	В	
		市民や事業所に対して、		人 権 ·		DV予防講座は開催できなかっ				活動 指標	DV予防	講座開	催回数((回)		
71		DVに関する理解促進と	人権·男女共 同参画課	男女		たが、パネル展、ホームページ、 センターニュース「クレアシオン」	目標の講座開催回数に達しな	継続	「女性に対する暴力をなくす運動期間」に合わせて、市民を対		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
/ 1	供	た研修会や講演会を開催する。		共同	象としたDV予防講座を開催する。	等にて「女性に対する暴力をな くす運動期間」について周知し	かったため	和生 称近	象としたDV予防講座を開催する。	目標	_	I	-	I	I	ı
		准りる。		参画		た。				実績		I	2	2	0	
				課						評価	_	В	Α	Α	D	
		市民や事業所に対して、		生						活動 指標	研修会の	の実施回	回数(回))		
		DVに関する理解促進と		涯	市民に対して、DVに関する理		今年度は実施できなかったた	/nk /r=	市民に対して、DVに関する理解		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
71	の字智機会の提供	た研修会や講演会を開	同参画課 生涯学習課	学習	解促進、暴力の防止を目的とした研修会、講演会を実施する。	-	今年度は実施できなかったた め。 継続		促進、暴力の防止を目的とした 研修会、講演会を実施する。	目標	-	I	ı	I	I	I
		催する。		課						実績	0	ı	0	0	0	
										評価	_	В	D	D	D	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	上、B:		战、C:目		
		DVに関する図書やDV		人 権 ·						活動 指標	関連テー	-マの特	設展示	(回)		
72		Dを購入するとともに、図書・DVDの概要を広く	人権·男女共 同参画課	男女	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、DV防止	市役所本庁、男女共同参画セン ター及びカンカンベイサイドモー	_	継続	「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、DV防止に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
12	実と有効活用	周知し貸し出すことで、 DVに関する理解促進を	図書館	共同	に向けた啓発のため、特設コー ナーにてPRを行う。	ルにて、パネル展を行った。		THE HOL	向けた啓発のため、特設コー ナーにてPRを行う。	目標	_	1	- 1	- 1	- 1	- 1
		図る。		参画						実績		I	Ι	I	I	
				課						評価	_	В	В	В	В	
		DVに関する図書やDV								活動 指標	関連テー	-マ展示	の開催			
72	図書・DVDの充	Dを購入するとともに、図書・DVDの概要を広く	人権·男女共 同参画課	図書	男女共同参画課と協力し合い	人権・男女共同参画課と協力		継続	男女共同参画課と協力し合い		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
12	実と有効活用	周知し貸し出すことで、 DVに関する理解促進を	図書館	館	啓発の推進に努める。	し、関連テーマ展示を実施した。		和生 称近	啓発の推進に努める。	目標	_	I	ı	1	1	I
		図る。								実績	I	ı	ı	ı	ı	
										評価	_	В	В	В	В	
		DV相談窓口の情報が 必要な人に届くよう、		人権・思		市施設、関係窓口に相談窓口 案内を掲示した。また、岸和田市				活動 指標	DV相談	窓口の	周知			
73	DV相談窓口の	ホームページ・チラシ等 で、周知する。	人権·男女共	男女	療機関等に相談窓口のチラシ	医師会に協力いただき、市内の 医療機関に相談窓口案内の配	_	継続	市施設、関係課窓口、市内医療 機関等に相談窓口のチラシや		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
75	周知	また、内閣府・大阪府等 が実施している相談窓	同参画課	共同	やカードを配架し、DV窓口の周知を行う。	た。また、DV相談カードをリ		THE HILL	カードを配架し、DV窓口の周知を行う。	目標	_	-	-	-	-	-
		ロに関する情報についても情報発信を行う。		参画		ニューアルし、関係各課・機関へ 広く配架・周知を依頼した。				実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	
				人 権 ·						活動 指標	多様な村	目談体制	の検討	・確立		
74	多様な相談体制	面談・電話による相談に 加えて、SNSやメール等	人権·男女共	男女	DV被害者優先の「女性の弁護	法律相談は24件、うち電話によ			DV被害者優先の「女性の弁護		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
74	の確立		同参画課	共同	士による法律相談」の電話によ る相談を継続。	る相談は2件。	_	継続	士による法律相談」の電話による相談を継続。	目標	-	-	-	-	-	-
				参画						実績		-	_	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	100	目標値以 実施して	(上、B:		战、C:目		
		関係各課が連携して被 害者の安全確保を行う		人権・一	相談窓口担当者会議を開催						DV被害 携	者の安	全確保と	/継続支	援のため	めの連
75	被害者の安全確保と継続支援の	とともに、個々のニーズ に応じて、必要な支援や	人権·男女共 同参画課	男女	し、関係課の支援内容を共有す	相談窓口担当者会議を開催し、安全確保、継続支援のための連	_	継続	相談窓口担当者会議を開催し、 関係課の支援内容を共有すると		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
, 0	あり方の検討	情報提供を行う。また、 自立に向けた継続支援	関係各課	共同		携ができた。		ne no	ともにDV被害者支援のための 課題について検討を続ける。	目標	_	-	-	-	-	-
		のあり方について、関係 課と検討する。		参画	0					実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	
		DV被害者の早期発見 や適切な対応を行うた		人 権 ·		DV窓口担当者会議にて、各課				活動 指標	共通マニ	ニュアル	の整備と	∠周知		
76	DV対応マニュア	め、各課共通のマニュアルを整備する。また、各	人権·男女共 同参画課	男女	DV対応マニュアルの周知に努め、各課に応じた対応マニュア			継続	DV対応マニュアルの周知に努め、各課に応じた対応マニュア		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
76	ルの整備	課の業務に応じた対応	関係各課	共 同	ルの作成について依頼する。	応じた対応マニュアルの作成を	-	补 图	(a)、合謀に応した対応マーユア ルの作成について依頼する。	目標	-	1	1	-	1	-
		マニュアルの作成にも努 める。		参画		依頼した。				実績	-	ı	-	-	-	
				課						評価	_	D	В	В	В	
	DV被害者の早		人権・男女共	人 権 ·	事業一覧、各種相談窓口一覧	●各課のDV被害者への支援事業一覧、各種相談窓ロ一覧表をいつでも確認することができる			●各課のDV被害者への支援事 業一覧、各種相談窓ロ一覧表、	活動 指標	DV被害	者の早	期発見・	支援のが	きめの連	 直携
77	期発見・被害者 支援のための庁	関係機関と連携し、DV 被害者の早期発見や	同参画課 消防本部	男女	表、DV対応マニュアル等、関係 各課に情報提供を行う。	●大阪府からの要請で支援調			DV対応マニュアル等、関係各課に情報提供を行う。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	内連携及び関係機関との連携	ニーズ把握及びその解 決に向けた支援を行う。	市民病院関係各課	共同	●岸和田警察、大阪府女性相 談センターとの連携を密にし	整会議を行い、大阪府女性相談 センター・貝塚子ども家庭セン			●岸和田警察、大阪府女性相 談センターとの連携を密にして、	目標	-	-	-	-	ı	-
	機関との建携		判除合課	参画	て、DV被害者の安全確保を行う。	ター・生活福祉課と連携し、DV 被害者の安全確保策について			DV被害者の安全確保を行う。	実績		-	-	-	1	
				課		検討した。				評価	_	В	В	В	В	
	DV被害者の早		人権・男女共		救急事案等において、DV被害				救急事案等において、DV被害	活動 指標	DV被害	者の早	期発見・	支援のが	ための連	 連携
77	期発見·被害者	関係機関と連携し、DV 被害者の早期発見や	同参画課	消 防	を受けている可能性があればD V相談窓口の案内を行う。また、	疑われる事案全て関係機関と連	る事案全て関係機関と連 _	如红	を受けている可能性があればD V相談窓口の案内を行う。また、		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
1.1	支援のための庁内連携及び関係	ニーズ把握及びその解	消防本部市民病院	本部		携協力	-	継続 V E	関係機関と情報共有し、被害者 に対する支援が迅速に行われる	目標	-	-	-	-	-	-
	機関との連携	13 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13 / 13	関係各課		れるよう取り組む。				よう取り組む。	実績	-	-	-	-	-	
										評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
	DV被害者の早		人権・男女共	医療マ	DV被害と思われる方がいた				DV被害と思われる方がいたら、	活動指標	DV被害	者の早	期発見・	支援の#	きめの連	携
77	期発見·被害者	関係機関と連携し、DV 被害者の早期発見や	同参画課 消防本部	ネジ		早期発見、解決に向けた支援の	_		DV相談窓口を案内し、大阪府 救急センター、本市子ども家庭		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' '	内連携及び関係機関との連携	ニーズ把握及びその解 決に向けた支援を行う。	市民病院関係各課	メン	庭課等とも連携し、被害者の早 期発見、解決に向けた支援を	体制を維持した。			課等とも連携し、被害者の早期 発見、解決に向けた支援を行う。	目標	-	_	_	-	-	_
	成民との連携		判除合础	۲	行う。				光見、解決に向けた又抜を行う。	実績	-	-	_	-	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	
	児童虐待・高齢	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多	/ 按. 田 女 艹	人 権 ·						活動指標	DVと各	虐待担	当課での	連携体	制の整体	着
	者虐待·障害者	いため、児童、高齢者、	同参画課	男女	相談内容に応じて、児童虐待、 高齢者虐待、障害者虐待の担	必要に応じて、関係各課の担当		/mk //+	相談内容に応じて、児童虐待、 高齢者虐待、障害者虐待の担		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
78	連携の仕組みづ	障害者の虐待担当課が 連携し、それぞれの機能	障害者支援課	共同	当課と連携しDV被害者支援を 行う。	と照会や情報提供を行い、合同 で相談対応を行った	-	継続	当課と連携しDV被害者支援を 行う。	目標	_	_	-	-	-	_
	< 1)	を理解し、被害者支援を 行う仕組みをつくる。	子ども家庭課	参画						実績		_	-	-	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	
	児童虐待・高齢	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多	/ 烧。	福						活動 指標	DVと各	虐待担	当課での	連携体	制の整体	着
	者虐待·障害者	いため、児童、高齢者、	同参画課	祉		高齢者がいる家庭でのDV案件			関係各課のそれぞれの役割等		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
78	連携の仕組みづ	障害者の虐待担当課が 連携し、それぞれの機能	障害者支援課	政策		について、関係各所との連携に 努める。	-	継続	を理解し、連携協力体制を構築する。	目標	_	_	-	-	-	_
	< 0	を理解し、被害者支援を 行う仕組みをつくる。	子ども家庭課	課						実績	_	_	_	_	-	
										評価	_	В	В	В	В	
	児童虐待・高齢	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多	/ 烧。 田 女 廿	障	障害者に係るDV案件について	障害者に係るDV案件について			障害者に係るDV案件について	活動 指標	DVと各	虐待担	当課での	連携体	制の整体	備
F.C.	者虐待·障害者	いため、児童、高齢者、	同参画課	害者	障害者に係るDV案件については、大阪府作成の障がい者虐は、大阪府作成の障がい者虐待対応マニュアルに基づいて関係課への情報提供を行うと、機・男女共同参画課への情報といると思想を行うと、というによっては、大阪府作成の「障がい者虐待対応マニュアル」に基づいて、人権・男女共同参画課への情報といると思想を行うという。	6 mk 6 ±	は、大阪府作成の障がい者虐待対応マニュアルに基づいて関係		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
78	連携の仕組みづ	障害者の虐待担当課が 連携し、それぞれの機能	障害者支援課	支援	関係課への情報提供を行うと		-	継続	課への情報提供を行うとともに、 関係課とともに必要な支援を行	目標	-	_	_	-	-	_
	< 0	を理解し、被害者支援を 行う仕組みをつくる。	子ども家庭課	課		行った。			j.	実績	_	-	_	-	-	
										評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
	児童虐待・高齢	DV被害者は複数の問題を抱えていることが多	人格·甲女共	子						活動 指標	DVと各	虐待担	当課での	連携体	制の整備	備
78	者虐待·障害者	いため、児童、高齢者、 障害者の虐待担当課が	同参画課	ども	相談を受けた場合は、課題によ	必要に応じ人権・男女共同参画 課や障害者支援課等の関連部		継続	相談を受けた場合は、課題によ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70		連携し、それぞれの機能	障害者支援課	家庭	り必要な連携を図り支援する。	署と情報共有し、相談者や児童 に対して必要な支援を行った。		和生形 论	り必要な連携を図り支援する。	目標	_	-	1	_	-	-
	(1)	を理解し、被害者支援を行う仕組みをつくる。	ナとも 多庭 珠	課						実績	_	-	1	-	-	
										評価	_	В	В	В	В	
					「住民票の写し」及び「戸籍附票	住民票、戸籍附票発行禁止入 カ・マイナンバー情報連携不開 示入力・関係市町村への連絡・			DV等被害者への支援措置として「住民票の写し」及び「戸籍 附票の写し」の交付・閲覧制限 を実施し個人情報の保護に努	活動指標	DV被害	者の個。	人情報の	の保護		
79	DV被害者の個	DV被害者の個人情報 の保護のため、情報管	市民課 人権·男女共	市民	し個人情報の保護に努める。 住民票、戸籍附票発行禁止入力・	本市関係各課への情報共有を 支援措置申出受理後迅速に遺	_	継続	める。 住民票、戸籍附票発行禁止入		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
, ,	人情報保護	理を徹底する。	同参画課 関係各課	課	マイナンバー情報連携不開示入	漏なく行うことができた。また支 援措置対象者の「住民票の写			カ・マイナンバー情報連携不開示人力・関係市町村への連絡・	目標	_	ı	ı	ı	-	-
					係各課への情報共有を支援措置	し」「戸籍附票の写し」交付・閲 覧制限を徹底して行うことがで			本市関係各課への情報共有を支援措置申出受理後迅速に遺	実績	_	-	-	-	-	
						きた。			ス族信直中出受理役迅速に退 漏なく行う。	評価	-	В	В	В	В	
				人 権 ·						活動 指標	DV被害	者の個。	人情報の	の保護		
79	DV被害者の個	DV被害者の個人情報 の保護のため、情報管	市民課 人権·男女共	男女	DV被害者の個人情報管理を	個人情報管理を徹底した。 また、DVによる支援措置申出者		継続	DV被害者の個人情報管理を徹		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
19	人情報保護	理を徹底する。	同参画課 関係各課	共同	徹底する。	に対して意見付与を行っている。		和生形 论	底する。	目標	_	-	-	_	-	-
				参 画						実績		-	-	_	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	
				人 権 ·						活動 指標	研修会	への参加	ם			
80	相談担当者の資	DV被害者支援のため、 相談対応スキルの向上、	人権·男女共	男女	大阪府が開催する相談員スキルアップ研修に参加し、相談ス	今年度から相談業務を担当する ことになった職員について、相談		公 座 公主	大阪府が開催する相談員スキル アップ研修に参加し、相談スキル		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
80	質向上	利用できる社会資源に 関する情報収集を行う。	同参画課	共同	ルアッノ研修に参加し、相談ス キルを向上させる。	員スキルアップ研修及びDV関連の研修に参加した。	_	邢企 称 尼	アップ研修に参加し、相談スキル を向上させる。	目標	-	-	-	-	-	-
				参画						実績		-	-	_	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
				人 権 ·						活動指標	女性相談	談とDVホ	相談の連	連携		
81	女性相談及び DV相談の充実	女性相談とDV相談を効 果的に連携させDV被害		男女		女性相談からDV相談、DV相談 から女性相談と、相互に利用案	_	継続	女性相談からDV相談、DV相談 から女性相談と、相互に利用案		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
01	と連携	者の支援を行う。	同参画課	共同		内を行った。		THEE HALL	内を行う。	目標	_	-	-	-	-	_
				参 画						実績		_	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	В	В	<u> </u>
		DV被害者の自立に向		広						活動 指標	弁護士(による無	料法律	相談の実	 尾施回数	(回)
82	弁護士相談及び	けた支援のため、制度の周知方法や実施方法に		報広	DV被害者が抱える問題のうち、法律的な解決を要する問題	毎週木・金曜日 (年末年始、祝日等を除く。) に実施。		継続	DV被害者が抱える問題のうち、 法律的な解決を要する問題に対		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
02	人権相談の充実	同知力法や実施力法に ついて、課題を整理し充 実に向けた検討を行う。		聴課	に対し、弁護士の無料法律相 談を実施する。	令和6年度実績:100回		本在 本元	し、弁護士の無料法律相談を実施する。	目標	_	98	97	97	100	100
		天に向けた快討を1〕)。		話						実績	85	98	97	97	100	
										評価	-	В	В	В	В	
		DV被害者の自立に向		人 権 ·		相談を聞く中で、必要に応じて				活動 指標	DV法律	相談の	利用者数	效(人)		
82	弁護士相談及び	けた支援のため、制度の 周知方法や実施方法に		男女	担談空口の国知に奴めて	法律相談の案内をした。 相談内容や相談希望日に合わ	目標のDV法律相談の利用者数	《 峰 《 *	相談窓口の周知に努める。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
02	人権相談の充実	ついて、課題を整理し充 実に向けた検討を行う。		共同		せて、当課の法律相談や広報広 聴課の法律相談を案内するな	に達しなかったため。	本在 本元	伯談念ログ周知に分める。	目標	_	24	30	36	36	36
		美に向けた検討を付う。		参画		ど、連携しながら対応している。				実績	19	27	12	19	24	
				課						評価	_	Α	С	С	С	
		自らがDV被害者である と認識していない人に、		人 権 ·		DV予防講座は開催できなかっ			【施策番号71参照】	活動 指標	講座の	開催数(回)			
83		周囲が気づき、相談窓 口につなげるため、地域	人権·男女共 同参画課	男女		センターニュース「クレアシオン」	DV予防講座を開催できなかっ	継続	市民を対象としたDV予防講座 を開催する際に、民生委員・児		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
03	地域リーダーの 育成	で人々に関っている方 に、被害者の早期発見	関係各課	共 同	童委員など地域で市民に関わる人に対して、開催の周知を行	等にて「女性に対する暴力をな くす運動期間」について周知し	たため	孙红 形化	童委員など地域で市民に関わる人に対して、開催の周知を行	目標	_	ı	-1	- 1	I	ı
		のための研修を実施す る。		参画	う。	た。			う。	実績		ı	0	3	0	
				課						評価	_	В	D	Α	D	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		式、C:目		
			人権・男女共	人 権 ·		①「フェムテックってなぁに?」(8)				活動 指標	講座の間	開催数((回)			
84	若年層への性に 関する教育・学	性と生殖に関する正しい 知識を身につけるため、	同参画課 学校教育課	男女	性と生殖に関する講座を開催	人参加)②「乳がん予防セミナー&リラッ	_	継続	実施対象年度でないため、実施		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	習機会の提供	各年齢僧に応じた字智 会 護応を実施する	人権教育課 生涯学習課	共同	する。	クス椅子ヨガ」(24人参加)		THE HOLD	予定なし。	目標	_	_	-	I	I	_
			- Z.Z. J G IX	参画						実績		-	-	ı	2	<u> </u>
				課						評価	-	_	-	В	Α	
			人権·男女共	学	「体育」「保健体育」の授業を				 	活動 指標	「体育」 知	「保健体	本育」の	受業にお	ける指導	導の周
84	若年層への性に 関する教育・学	性と生殖に関する正しい 知識を身につけるため、	同参画課 学校教育課	· 校 教	通じて、学習指導要領に沿った	「体育」「保健体育」の授業について、適宜指導主事が各学校を	_	継続	で、学習指導要領に沿った上で、各学年に応じた性と生殖に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
04	習機会の提供	各年齢層に応じた学習 会、講座を実施する。	人権教育課 生涯学習課	育課	に関する正しい知識を身につけってせるよう各校に周知する。			<u> አቀድ አ</u> ሃር	関する正しい知識を身につけさせるよう各校に周知する。	目標	_	-	-	-	Ī	_
			土在子自际	酥	させるより谷牧に周知する。				につよ / 谷仪に 向加りる。	実績	_	-	-	-	-	
										評価	-	В	В	В	В	
			人権・男女共			各学校の実情に応じて「保健体	タ 学校 ブ 「 欠 健 体 右 . 笙 の 娯			活動 指標	「保健体	ķ育 」等(の授業を	・通じたき	学習	
84	若年層への性に	性と生殖に関する正しい 知識を身につけるため、	同参画課	権教	学習指導要領に基づき、「保健 体育」等の授業を通じて、各学	育」や「性と生の学習」の学習カ		継続	学習指導要領に基づき、「保健 体育」等の授業を通じて、各学		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
04	関する教育·学 習機会の提供	各年齢層に応じた学習 会、講座を実施する。	学校教育課 人権教育課	育	年の発達段階に応じた学習指 導を行う。	リキュラムに基づき、発達段階に 応じた学習機会を提供するなど	て、子どもたちの学習理解に努	於 生 於記	年の発達段階に応じた学習指 導を行う。	目標	-	_	-	-	-	_
			生涯学習課	課		している。	めているため。			実績	-	_	-	-	-	
										評価	-	В	В	В	В	
			/ 按. 田 女 廿	生						活動 指標	家庭教育	育学級で	での講座	実施回	数(回)	
6.1	若年層への性に	性と生殖に関する正しい 知識を身につけるため、	人権·男女共 同参画課	涯	乳幼児・小学生・中高生をもつ 保護者を対象とした家庭教育	和音家庭教育学級学習会「大切なからだ大切な心~性と生の			乳幼児・小学生・中高生をもつ 保護者を対象とした家庭教育学		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
84	関する教育・学習機会の提供	各年齢層に応じた学習	学校教育課 人権教育課	学習	学級の学習内容に、性と生殖	学習ではぐくむ自分を大切にするカ」を実施。	-	継続	級の学習内容に、性と生殖に関するテーマを含める。	目標	-	I	1	ı	ı	ı
		A WHITE C N/10 7 80	生涯学習課	課	147 / 0 / (277 - 2400			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	実績	ı	I	1	I	I	
										評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		思春期から出産期、更	人権・男女共	人 権 ·						活動 指標	講座の間	開催数(回)			
85	応じた性と生殖	年期、高齢期等、ライフ ステージに応じて性と生	同参画課 子ども家庭課	男女		①「フェムテックってなぁに?」(8 人参加)	_	継続	実施対象年度でないため、実施		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	に関する情報提 供	殖に関する健康・権利に ついての情報を発信す	人権教育課 生涯学習課	共同	殖に関する講座を開催する。	②「乳がん予防セミナー&リラッ クス椅子ヨガ」(24人参加)		THEE HYL	予定なし。	目標	-	-	1	-	_	-
		る。	工作了目跃	参画						実績		-	-	2	2	<u> </u>
				課						評価	_	-	-	Α	Α	
		思春期から出産期、更	人権·男女共	子	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】	パパママ教室等を通じて家族計画を含めた性と生殖に関する情			【施策番号5参照】	活動 指標	開催回	数(クー	ル)※1:	クール=3	3回	
85	応じた性と生殖	年期、高齢期等、ライフ ステージに応じて性と生	同参画課 子ども家庭課		【施策番号5参照】 パパママ教室等を通じて家族	報提供を行った。 パパママ教室:全6クール終了	_	継続	パパママ教室等を通じて家族計 画を含めた性と生殖に関する情		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
03	に関する情報提 供	殖に関する健康・権利に ついての情報を発信す	人権教育課 生涯学習課	家庭	計画を含めた性と生殖に関す る情報を提供する。	(うち日曜日開催3回) 参加人数(延):妊婦172人、			報を提供する。 パパママ教室:3回1クール 年	目標	_	6	6	6	6	6
		る。	工作了目跃	課	パパママ教室:3回 クール 年間6クール開催予定。	パートナー102人			間6クール開催予定。	実績	6	6	6	6	6	<u> </u>
										評価	_	В	В	В	В	
		思春期から出産期、更	人権・男女共		【施策番号84参照】				【施策番号84参照】	活動 指標	「保健体	は育」等(の授業を	通じたき	学習	
85	応じた性と生殖	年期、高齢期等、ライフ ステージに応じて性と生	同参画課 子ども家庭課	権教	学習指導要領に基づき、「保健	各学校で、「保健体育」等の学 習カリキュラムに基づき、発達段	各学校で「保健体育」等の学習 カリキュラムを計画通り進めてい	丝	学習指導要領に基づき、「保健体育」等の授業を通じて、各学		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
03	に関する情報提 供	殖に関する健康·権利に ついての情報を発信す	人権教育課 生涯学習課	育課	年の発達段階に応じた学習指導を行う。	階に応じた学習指導を行っている。	るため。	<u> አቀድ አ</u> ሃር	年の発達段階に応じた学習指導を行う。	目標	-	ı	Ī	1	ı	_
		る。	生涯子百 硃	誅	等で1〕)。				等で1J J。	実績	_	ı	Ī	_	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		思春期から出産期、更	人権・男女共	生						活動 指標	情報発信	信回数(回)			
85	ライフステージに 応じた性と生殖	年期、高齢期等、ライフ ステージに応じて性と生	同参画課	涯	各年代に応じた情報発信の機	和音家庭教育学級学習会「大 切なからだ大切な心〜性と生の	継続	⋞⋭⋞ 士	各年代に応じた情報発信の機		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
83	に関する情報提 供	殖に関する健康・権利に ついての情報を発信す	子ども家庭課人権教育課	習	会を検討し発信する。	学習ではぐくむ自分を大切にす る力」を実施。	_	継続	会を検討し発信する。	目標	-	I	1	1	1	1
		3.	生涯学習課	課						実績	0	I	4	- 1	- 1	
										評価	-	В	Α	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目		
		思春期から妊娠・出産		健		20歳の女性には子宮がん検 診、40歳の女性には乳がん検				活動指標	②乳が, ③妊婦・	ん検診党		%)	R5まで)
86	ライフステージに	期、高齢期等、ライフス テージに応じて適切な	健康推進課 子ども家庭課	康推	乳がん・子宮がん検診の実施。	診の無料クーポン券を5月に送付し、受診を勧奨。また、無料	受診勧奨、再勧奨は予定どおり 実施したが、目標の受診率には	継続	乳がん・子宮がん検診の実施。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	応じた健康支援	健康管理ができるよう 支援する。	市民病院 生涯学習課	進課	300000000000000000000000000000000000000	クーポン券を送付した人のうち、 未受診の人に対し、11月に再勧	到達できないため。	76.775	300 10 3 2 0 10 1/12 17 2000	目標	_	①35 ② 40 ③ -	①35 ② 40 ③ -	①35 ② 40 ③ -	①35 ② 40	①35 ② 40
		\(\int_{1\text{\$\tilde{\text{\$\tinx{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\tex{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\text{\$\texititt{\$\text{\$\text{\$\text{\$\texititit{\$\text{\$\texitit{\$\text{\$\text{\$\tex		10八		奨を実施。				実績	①17.9 ② 20.1	①18.3②18.3③-	①18 ② 19③-	①20 ②20③-	①202220	
										評価	_	①2C 3 B	①2C 3 B	①2C 3 B	①C ② C	
		思春期から妊娠・出産		子	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ一部移管】	●妊婦健康診査は1人につき14回 分(116,840円)、多胎の場合は 19回分(142,040円)の受診券を			●妊婦·産婦健康診査の実施。	活動 指標	妊婦·産	婦健康	診査の	実施		
86	ライフステージに	期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な	健康推進課 子ども家庭課	ども	●電話・オンラインによる妊産	交付して費用助成を実施。産婦健 康診査は2回分(10,000円)の受	_	継続	●電話・オンラインによる妊産婦 子育て相談や、助産師等による		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
80	応じた健康支援	健康管理ができるよう 支援する。	市民病院 生涯学習課	家庭	よる伴走型相談支援により、妊	診券を交付して費用助成を実施。 ●電話・来所・訪問・オンライン等で		补生的 6	伴走型相談支援により、妊娠~ 産後まで訪問や面談で相談支	目標	_				-	-
		又抜りる。		課	娠〜産後まで訪問や面談で相 談支援を実施。	妊産婦の子育て相談や、助産師等 による伴走型相談支援により、妊娠			援を実施。	実績					1	
						〜産後まで相談支援を実施。				評価	_				В	
		思春期から妊娠・出産		医療マ	出前講座に登録している健康	市民向けの講演会を開催 市民公開講座 4/27、11/16、12/7			出前講座に登録している健康に	活動指標	講座の	実施回数	效(回)			
86	ライフステージに	期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な	健康推進課 子ども家庭課	ネジ	に関するテーマについて、市民からの希望を待つだけでなく、	それぞれ23名、34名、56名 合同講演会	_	継続	関するテーマについて、市民からの希望を待つだけでなく、積極		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	応じた健康支援	健康管理ができるよう支援する。	市民病院 生涯学習課	メン	積極的に市内の施設に出向き、講座を実施する。	10/19 20名		THE NOT	的に市内の施設に出向き、講座 を実施する。	目標	-	2	2	2	2	2
		又抜りる。		١	で、神座を夫他する。	健康講座 2/25			を美施する。	実績	2	0	2	4	5	
				課		30名 合計163名。				評価	_	D	В	Α	Α	
		思春期から妊娠・出産		生		短期講座「パパ・ママがもうダメとなる前に~東洋医学編~」(大人8名子ども5名参加)・「遊びも学び」(9名参加)・「親子でバランス				活動指標	講座の	実施回数	效(回)			
86	ライフステージに	期、高齢期等、ライフステージに応じて適切な	健康推進課 子ども家庭課	涯	体を動かす運動系講座や栄養	ボールエクササイズ」(大人7名 子 ども10名)・「お肉プロジェクト		継続	軽運動系や栄養に関する講座		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
00	応じた健康支援	健康管理ができるよう	市民病院 生涯学習課	習	に関する講座を開催する。	シェフ直伝トンテキ・鶏ハム」 (16名 参加)を実施。	-	邓生 郑 正	を開催する。	目標	-	2	2	2	2	2
		支援する。		課		令和6年度内に短期講座「見逃されがちな男性の更年期障害」・「先				実績	2	2	8	6	7	
						取春野菜」・「ご飯で免疫力!」を実 施予定。				評価	-	В	Α	Α	Α	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容	7.0	目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		健康に関する市民の ニーズや様々な情報を		健						活動指標	相談体制	制の充実	E			
27	健康却談の女宝	収集し担当者間で共有	健康推進課 子ども家庭課	康推		保健師等による健康相談等を 電話(随時)や面接(予約制)に	_	継続	保健師等による健康相談等を 電話(随時)や面接(予約制)に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
07	风水伯		市民病院	進課	にて実施する。	て実施。		THE HOL	て実施する。	目標	_	Ī	_	-	-	_
		努める。		歃						実績	-	-	-	-	-	
										評価	-	Α	В	В	В	
		健康に関する市民の ニーズや様々な情報を		子	DA VICE WITHIT WE	専門職(保健師·理学療法士· 保育士·栄養士·歯科衛生士·			専門職(保健師・理学療法士・ 保育士・栄養士・歯科衛生士・ 助産師・発達相談員)による健 康相談等を電話(随時)や面接	活動 指標	相談体制	制の充実	Ę			
27	健康相談の充宝	収集し担当者間で共有	健康推進課 子ども家庭課	ŧ	等を電話(随時)や面接(予約制)	助産師・発達相談員)による健 康相談等を電話(随時)や面接	_	継続	(予約制)にて実施する。 面接では直接的な対面だけで		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
07	建 冰伯畝07亿天		市民病院		にて実施する。 面接では直接的な対面だけでな	(予約制)にて実施した。オンラ イン相談については、需要があま		THE NO.	なく、「Zoom」を活用した、オンラインでの育児相談(保健師・	目標	_	I	-	-	-	_
		努める。		課	く、「Zoom」を活用した、オンライン での育児相談(保健師・助産師・	りなく、電話や面接相談で対応 している。			助産師・管理栄養士・歯科衛生士・発達相談員による)を実施	実績	-	-	-	-	-	
					管理栄養士・歯科衛生士・発達相 談員による)を実施する。				する。	評価	-	-	-	-	В	
		健康に関する市民の ニーズや様々な情報を		医療マ	患者支援センター医療相談窓				患者支援センター医療相談窓	活動 指標	医療相言	淡窓口0	の充実			
87	健康担談の充実	収集し担当者間で共有	健康推進課 子ども家庭課	ネジ	口では基本的に看護師が相談	相談窓口の充実を図った。		継続	ロでは基本的に看護師が相談 にあたっているが、必要に応じて		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
07		健康不安を解消するた	市民病院	Х	て他の専門職も対応するなど	伯畝总ロの元夫を囚うた。		和生物 化	他の専門職も対応するなど相談	目標	_	-	-	-	-	-
		めの相談体制の充実に 努める。		ント	相談窓口の充実を図る。				窓口の充実を図る。	実績	-	-	_	-	_	
				課						評価	-	В	В	В	В	
				子	特定妊婦について、必要な事 案について母子保健担当と共				特定妊婦について、必要な事案 について母子保健担当と共同	活動 指標	該当会詢	義の実施	拖回数(回)		
88	特定妊婦への支	特定妊婦の状況を共有 し、個々のニーズの把握	フジナウム		同でリスクアセスメントを実施 し、支援方針を立てて支援を行	在宅児・特定妊婦会議を予定通 りそれぞれ月1回ずつ実施。		Onk 6±	でリスクアセスメントを実施し、支援方針を立てて支援を行う。そ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
88	援	及び問題解決に向けた支援を行う。	子ども家庭課		う。その後も定期的に複数の機 関でモニタリング実施する。	りそれぞれ月1回すつ実施。 【会議開催: 12 回】	通 - 継続 の後 モニ 【 実	の後も定期的に複数の機関で モニタリングを実施する。	目標	-	24	24	24	12	12	
				課	【 実施予定会議 】 ·在宅児·特定妊婦会議				【 実施予定会議 】 ·在宅児·特定妊婦会議	実績	20	20	22	22	12	
									IT OVE IN WAYING BY	評価	-	С	С	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
				人 権 ·						活動指標	医療関係	係者との	連携			
89	医療関係者との	市民の健康不安の解消 や生涯にわたる健康管	人権·男女共 同参画課	男女	各種相談の相談者で医療的処 置が必要な場合は、心身の健	相談を聞くうえで、健康状態に 不安がある人については、医療	_	継続	各種相談の相談者で医療的処 置が必要な場合は、心身の健康		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
84	連携		健康推進課 市民病院	共同		機関を受診しているのか確認を 行った。		<u> አቀድ አ</u> ሃር	保持のために医療機関につな げる。	目標	_	_	_	-	-	_
				参画						実績		-	-	-	-	
				課						評価	_	В	В	-	-	
				健	各がん検診や市民歯科健康診	●各がん検診 保健センターでの集団がん検診を年間35回 (男性7回、女性28回)、岸和田市国保加入者 の集団特定健診(がん検診同時実施)を年間 28回(男性10回、女性18回)、協会けんば集			各がん検診や市民歯科健康診	活動 指標	受診しや	うすい体	制の構築			
89			人権·男女共 同参画課	康推	ター等での集団検診に加え、各	団特定健診(がん検診同時実施)を年間1回 実施。また、市民センター3か所で巡回がん検 診を年間3回実施の他、医療機関での個別検	_		査等の実施について、保健センター等での集団検診に加え、各		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
07	連携		健康推進課 市民病院	進課	実施し、市民が受診しやすい体	診を実施。(乳がん・子宮がん・胃がん(胃内視鏡)検診は通年、大腸がん・肺がん検診は5月~3月)			実施医療機関での個別検診を 実施し、市民が受診しやすい体	目標	-	ı	ı	ı	-	-
				四本		●市民歯科健康診査 保健センターでの集団健診を年間 2回(男性 3回、女性9回)がん検診と同時実施			制を構築する。	実績	_	-	-	-	-	
-						医療機関での個別健診を実施(通年)				評価	_	В	В	В	В	
				医療マ	地域の医療機関との連携を図					活動 指標	地域医料	寮機関へ	への訪問	件数(件	=)	
89	医療関係者との		同参画課	ネジ	るとともに、医師や職員が地域	訪問を積極的に行った。	_	継続	地域の医療機関との連携を図るとともに、医師や職員が地域の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
0,	連携		健康推進課 市民病院	メン	む)し、情報交換や情報共有を 行う。	助同で頂記が11 //で		THE HYL	医療機関を訪問(WEBも含む) し、情報交換や情報共有を行う。	目標	_	60	60	60	60	60
				١	11 70					実績	46	60	60	90	163	
				課						評価	_	В	В	Α	Α	
	多様な性につい	性の多様性に関する正		人 権 ·		岸和田市人権協会総会で、映				活動 指標	性の多材	羕性に関	する情報	報発信		
90	ての理解を深め	しい理解と認識を深め、 性的少数者の人たちが	人権·男女共	・ 男	_	継続	性の多様性に関して情報発信す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
70	会の提供・情報提供	安心して生活し、活躍で きる社会が実現できるよ	同参画課	共同	する。	クロアグレッション」について学 ぶ研修会(52人参加)を開催し		补生 水 汇	る。	目標	_	ı	ı	ı	-	_
	灰 供	う様々な情報を提供		参画	する。 クロアグレッション」について学		実績		ı	ı	-	_				
				課						評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		成、C:目		
		男女がともに子育てに		人 権 ·		きしわだ男女共同参画フォーラ				活動 指標	講座開作	崔回数(回)			
a ı	子育ての役割分 担についての支	取り組めるよう、子育て における性別による固定		男女	父親の育児参画について考え	ム「「男性育休」を有効活用~ 本人・周りの育児参画のコツを	_	継続	父親の育児参画について考える		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
/ 1	援	的な役割分担意識を払 拭するための講座等を	同参画課	共同	る講座を開催する。	考える~」(44人参加)を開催した。		THEE HOL	講座を開催する。	目標	_	- 1	1	- 1	_	ı
		開催する。		参画		7~0				実績		ı	ı	4	I	
				課						評価	-	В	В	Α	В	L
		子どもたちが性別による 固定的な役割分担意識 にとらわれず、その能力		人 権 ·						活動 指標	講座開作	崔回数(回)			
as	子どもの個性を 伸ばす子育ての	や個性を尊重した生き方を選択することを支援	人権·男女共	男女	保護者や地域で子どもに関わる人たちに対して、性別に関わ	「親子でサイエンス・クッキング」 (37人参加)、「親子で一緒に		継続	保護者や地域で子どもに関わる 人たちに対して、性別に関わら		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
72	意識づくり		関係各課	共同	らず、個性を伸ばす方法について考える講座を開催する。	日曜大工」(18人参加)を開催 した。			ず、個性を伸ばす方法について 考える講座を開催する。	目標	_	-	ı	1	Ι	ı
		たちに対して研修会や講演会を開催する。		参 画						実績		-	2	6	2	
		碑, 供公を用作りる。		課						評価	-	-	Α	Α	Α	
		保護者の育児不安の解		子						活動 指標	相談窓口	口の情幸	段提供			
93	育児に関する相	消のため、個別の状況 に応じた子育てに関する	子ども家庭課	ど も	【R6より健康推進課から子ども家庭課へ移管】	妊娠届出時に母子保健サービ ス、子育て支援サービス等の情		継続	妊娠届け出時に子育てに関する		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
73	談窓口の充実	様々な情報提供を行うと ともに、相談窓口の周知	子育て施設課	家庭	妊娠届け出時に子育てに関す る相談窓口の情報提供を行う。	報提供を行い、相談窓口の周知 を実施した。		<u> አቀድ አንር</u>	相談窓口の情報提供を行う。	目標	-	-	-	-	ı	-
		に努める。		課						実績	_	ı	Ī	-	1	
										評価	_	В	В	В	В	
		保護者の育児不安の解		子	「みんなくこそたく」を作成・配	「みんなでこそだて」を作成し、保育所等をはじめ市民センターなどにも配布し、 子育てに関する情報提供を行った。「み んなでこそだて」には、保育コンシェル			「みんなでこそだて」を作成・配	活動 指標	「みんな	でこそた	ごて」の酢	记布箇所	数	
93	育児に関する相	消のため、個別の状況 に応じた子育てに関する	子ども家庭課	育て	を行う。また、ホームページやチ	ジュによる相談事業について掲載し、 ホームページやチラシなどの複数の媒		継続	布し、子育てに関する情報提供 を行う。また、ホームページやチ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
73	談窓口の充実	様々な情報提供を行うと ともに、相談窓口の周知	子育て施設課	施 設		体でも相談事業の周知に努めた。 また、全保育所で「園庭開放」を、6園で			ラシなどの複数の媒体で保育コンシェルジュによる相談事業の	目標	_	90	90	90	90	90
		に努める。		課	の周知に努める。	「赤ちゃんルーム」を実施し、保育士や看 護師等が、保育所に通園していない子 の保護者からの子育て相談にも応じて	や看)子	周知に努める。	実績	90	90	87	90	90		
						の体験者からの子育(相談にも応じている。				評価	_	В	С	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		或、C:目		
		働き方をはじめ、多様な		子		一時預かり事業は、桜台保育所				活動 指標	一時預想			急一時預	頂かり事	業の年
94	多様なライフスタ イルに対応した	ライフスタイルに対応するため、ニーズに応じた	関係各課	育て	公立保育所において一時預か り事業及び緊急一時預かり事	において実施している。緊急一時預かり事業は、令和5年度は2	_	継続	公立保育所において一時預かり 事業及び緊急一時預かり事業		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
, .	子育てサービス の提供	様々な子育てサービスを提供する。		施設	業を実施する。	園の実施だったが、令和6年度は5園が実施している。		ne nyu	を実施する。	目標	_	1575	1575	1575	1575	1575
		JACIN 7 00		課		NO EN YMEO (V V)				実績	1575	1645	1422	1887	1851	
										評価	_	Α	С	Α	Α	
		保護者や地域住民を対		人 権 ·						活動 指標	講座の間	開催・情	報提供の	の回数(回)	
95	児童虐待の防止 のための学習機	象に、子どもとの接し方、 地域での児童虐待早期	人権·男女共 同参画課	男女	児童虐待防止に関連する講座		講座の開催及び情報提供がで	継続	児童虐待防止に関連する講座		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
43	会の提供	発見等、児童虐待防止 への意識向上のための	子ども家庭課	共同	の開催や情報提供を行う。	は開催できなかった。	きなかったため。	₹ <u>₹</u>	の開催や情報提供を行う。	目標	_	_	-	ı	-	I
		講座等を開催する。		参画						実績		ı	ı	2	0	
				課						評価	_	В	В	Α	D	
		保護者や地域住民を対							地域住民向けに出前講座等で	活動 指標	実務者	対象研修	多会実施	匝回数(回	回)	
95	児童虐待の防止 のための学習機	象に、子どもとの接し方、 地域での児童虐待早期	人権·男女共 同参画課	ŧ	育て支援地域協議会児童虐待		_	継続	研修を行う。また、岸和田市子育 て支援地域協議会児童虐待防		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
73	会の提供	発見等、児童虐待防止 への意識向上のための	子ども家庭課	家庭	防止ネットワーク部会での研修 開催を行い、児童虐待や支援	ゾエ アヤ)氏を講師に迎え、グ ループワークを交えた研修会を		<u> </u>	止ネットワーク部会での研修開催を行い、児童虐待や支援に関	目標	-	- 1	_	I	_	I
		講座等を開催する。		課	に関する知識を深めていく。	実施した。			する知識を深めていく。	実績	- 1	_	-	I	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		育児不安の解消や孤立の防止など、保護者の		人 権 ·	男女共同参画センターの情報	大宮地区市民協議会が実施す			男女共同参画センターの情報	活動 指標	子育で関	 関係団体	ふの活動	を支援		
96	地域における子 育て関係団体へ	居場所づくりを担う子育 て関係団体の活動を支		男女	コーナーで子育て支援関係の	る親子ひろば「カンガルー」のチラシ等を男女共同参画センター		⋞⋫⋞ 幸	コーナーで子育て支援関係のパンフレットやチラシを配架し活動		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
40	同(関係団体への支援	援するとともに、活動内	问参画課 生涯学習課	共 同	動内容の周知及び参加促進を	の情報コーナーに配架し利用者	「カンガルー」のチ 共同参画センター - 継続	本企 移 定	内容の周知及び参加促進を図	目標	-	-	-	-	-	-
		容について広く周知す る。		参画	図る。	に周知した。			3 .	実績		-	-	-	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
		育児不安の解消や孤立 の防止など、保護者の		生	子育て支援団体の活動の周知	パンフレットやチラシを保育室や			子育て支援団体の活動の周知	活動 指標	配架数	(情報用	発信棚	など)		
96	地域における子 育て関係団体へ	居場所づくりを担う子育	人権·男女共 同参画課	涯学	に取り組む。保育室やロビーに パンフレットやチラシを配架し、	ロビーに配架している。また、キッズルームや赤ちゃんサロンに初	_	継続	に取り組む。保育室やロビーに パンフレットやチラシを配架し、		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	の支援		生涯学習課	習課	ノに参加した休護者に兄(い	めて参加した保護者に対し配付も行っている。		THEE HYL	キッズルームやあかちゃんサロン に参加した保護者に見ていただ	目標	-	45	45	45	45	45
		る。		一	ただけるようにする。	011 2 (4 2 6			けるようにする。	実績	45	45	43	45	45	
										評価	-	В	В	В	В	
				人 権 ·		NPO法人ここからKi+主催、龍 谷大学人間問題研究プロジェクト・岸和田市共催で「ゆめパのじ				活動 指標	団体のシ	舌動支援	至			
97		子育て支援を行っている 団体の経験を活かした		男女		かん~上映会+トークイベント& 屋内型プレーパーク」を開催し	_	継続	子育て支援を行っている団体の 経験を活かした講座等を開催す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
77	事業の実施	講座等を共催する。	以示行环	共同	催する。	た。普段利用の少ない子育て世代に対し、男女共同参画セン		<u> አቀድ አ</u> ሃር	る。	目標	_	-	-	-	-	-
				参画		ターを周知する良い機会となった(9/28開催・70人参加)。				実績		-	-	-	-	
				課		7、(7/20開催 70/7多加)。				評価	_	D	В	В	В	
		子育て世代に必要な設		庁舎	設計施工事業者の公募を行う 際、バリアフリー・キッズスペー ス・多目的トイレ・授乳室等、子				設計施工事業者の公募を行う際、バリアフリー・キッズスペース・多目的トイレ・授乳室等、子	活動 指標	子育でt	世代に配	尼慮した新	新庁舎の	設計	
g &	子育て世代の利 便性を考慮した	備の整備や、子育て関 連課を近くに配置するな		建	育て世代に必要な設備の整備や、関連性を考慮した利用しや	小草を宝施していたい	_		育て世代に必要な設備の整備や、関連性を考慮した利用しや		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
70	庁舎の整備	ど子育て世代の動線を 意識した庁舎整備を行	課		すい課の配置とするなど、子育て世代に配慮した新庁舎の設	7			すい課の配置とするなど、子育 て世代に配慮した新庁舎の設	目標	_	-	-	-	-	-
		う。		課	計が行えるよう要求水準で求めていく。				計が行えるよう要求水準で求めていく。	実績	-	-	-	-	-	
					w/ CV \.					評価	-	ı	-	-	-	
		キッズコーナー、トイレへ		公共建		(仮称)市立春木・大芝認定こど も園整備事業に伴い、子育て世				活動 指標	子育でt	世代が利	∫用しや~	すい公共	施設の	整備
ga		のチャイルドシート設置 等、子育て世代が利用し	問係久運	築って	21 T U 4 T T T T T T T T T T T T T T T T T	帯の利便性保もちろんの事、車 いす使用者でも利用しやすいよ	_	継続	工事設計時に、子育て世代の利 便性を考慮し、子育て世代が利		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
79		やすい公共施設の整備を行う。			が利用しやすい公共施設の整 備をする。	う、多目的トイレ内にオストメイト の設置、国際シンボルマークの		补生 水 汇	用しやすい公共施設の整備をす る。	目標	_	ı	ı	-	-	_
		E1J)₀		メン		採用、駐車場の車いす専用区画 を計画した。				実績	_	ı	-	-	_	
				١						評価	_	В	-	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		战、C:目		
				人 権 ·						活動 指標	講座開作	崔数(回)			
100		介護する必要が生じた 際に、性別にかかわらず		男女	今年度は、実施年度ではない	_	_	継続	性別に関わらず介護に取り組め るよう、介護に関する講座を実施		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
100	についての支援	介護に取り組めるよう学 習機会を提供する。	同参画課	共同	ため、実施しない予定。			MEE NOL	する。	目標	_	- 1	- 1	-	-	I
				参 画						実績		0	3	-	-	<u> </u>
				課						評価	-	D	Α	-	-	L
				人 権 ·						活動 指標	就労のク	ための支	援			
101			同参画課	男女		泉州中障害者就業生活支援センター利用者の職業体験の受け	_	継続	障害のある女性から就労に関す る相談があれば、必要な支援に		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
101	への就労支援	用や労働に関する相談 窓口の周知に努める。	障害者支援課 産業政策課	共同	につなぐ。	入れをした。		<u> </u>	つなぐ。	目標	_	-	-	-	-	_
				参 画						実績		-	-	-	-	<u> </u>
				課						評価	_	С	-	В	В	L
				障						活動 指標	関係機関	関への第	そ内件数	(件)		
101	障害のある女性		同参画課		に応じてハローワークや泉州中		_	継続	相談や窓口対応の際に、必要に 応じてハローワークや泉州中障		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
101	への就労支援		障害者支援課 産業政策課	支 援	障害者就業・生活支援センター への案内を行う。	害者就業・生活支援センターへ の案内を行った。		MEE NOL	害者就業・生活支援センターへ の案内を行う。	目標	_	25	25	25	25	25
				課						実績	-	30	40	15	25	
										評価	-	Α	Α	С	В	
				产						活動 指標	周知メテ	ディア数				
101	障害のある女性		人権·男女共 同参画課	産業政	●模擬面接会を開催して就労 支援を行う。	II/ 6に模擬面接会を開催し、		継続	●模擬面接会を開催して就労 支援を行う。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
101	への就労支援	用や労働に関する相談	障害者支援課 産業政策課	策	●ホームページなどで周知に 努める。	就労支援を行った。市ホーム ページ等への周知に努めた。	-		●ホームページなどで周知に努める。	目標	-	2	2	2	2	2
				課	· · · · ·					実績	2	2	2	2	2	
										評価	-	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		成、C:目			
				人 権 ·		[발송 : 사 - 사 전 2명) , 보 /비 - 아 [2기 b				活動 指標	講座の間	開催·情	報提供の	の回数(回)		
102	虐待の防止のた		同参画課	男女	虐待防止に関連する講座の開	障害者支援課と共催で「認知症 になってからのセカンドストー リー」を開催。認知症について考		継続	虐待防止に関連する講座の開		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
102	めの学習機会の 提供	防止のための講座等を 開催する。	福祉政策課 障害者支援課	共同	催や情報提供を行う。	える機会となった(2/8開催・48 人参加)。		<u> </u>	催や情報提供を行う。	目標	_	1	ı	1	1	ı	
				参画		八参加了。				実績		_	I	ı	I		
				課						評価	-	В	В	В	В		
				福						活動 指標	啓発の質	実施					
102	虐待の防止のた		同参画課	祉政	事業所に対して高齢者虐待防	地域包括支援センターが主催の 新人ケアマネ研修において啓発	_	継続	事業所に対して高齢者虐待防		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
102	めの学習機会の 提供	防止のための講座等を 開催する。	福祉政策課 障害者支援課	策課	止のための啓発を行う。	を行った。		MET NYL	事業所に対して高齢者虐待防 止のための啓発を行う。	目標	-	ı	-	-	1	-	
				1000						実績		-	_	-	-		
										評価	_	В	В	В	В	<u> </u>	
				障		事業所に対して障害者虐待防				活動 指標	講座実施	施回数(回)				
102	虐待の防止のた		同参画課	害者	事業所に対して障害者虐待防止に係る講座を実施する。ま	止に係る講座を令和7年1月27日に実施した。また、事業所職員	_	継続		止に係る講座を実施する。また、		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	めの学習機会の 提供	防止のための講座等を 開催する。	福祉政策課 障害者支援課	援	た、市民向けにポスターなどで 啓発を行う。	向けにクリアファイルで虐待全般 の通報に関する啓発を行った。		70	市民向けにポスターなどで啓発 を行う。	目標	-	_	ı	- 1	Ι	ı	
				課						実績	I	_	I	ı	I	<u> </u>	
										評価	_	В	В	В	В	<u> </u>	
		各学校の相談窓口担当 者を対象に、会議及び				セクハラ相談窓口担当者会を実施するとともに、大阪府教育委				活動 指標	セクハラ (人)	相談窓	口担当	者会への	参加者	数	
103	スクール・セク シュアル・ハラス	研修会を開催し、セクハラ被害の状況や傾向、	人権教育課	権 セクハラ相談窓口担当者会を	纵线	セクハラ相談窓口担当者会を実 施する。セクシャルハラスメントに		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7				
103	メント相談窓口 の充実	防止対策等の情報を共有することで、相談体制	八八准分入 月 6木	教育課	トに関する資料の情報提供や 防止対策の情報を共有を行う。	った里生徒寺に対するセンシュ アル・ハラスメント等の防止に向けた取組み」などの資料を各学	防止に向	ጥሮ ቸሃር	関する資料の情報提供や防止 対策の情報を共有を行う。	目標		61	61	61	59	58	
		何すること (、相談体制 の充実に努める。		課		では、 校園に周知した。				実績	61	61	61	61	59		
										評価	-	В	В	В	В		

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施して	(上、B:		战、C:目			
										活動 指標	相談窓	口の周矢	п				
104			産業政策課	人事	庁内LANの庁内掲示板等を活 用し、市職員に対して各種ハラ	年度当初全部署に向けてパワ ハラ・セクハラの相談窓口につ	_	継続	庁内LANの庁内掲示板等を活 用し、市職員に対して各種ハラ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
104	窓口の周知	相談窓口について周知する。	人権·男女共 同参画課	課	スメントに関する相談窓口について周知する。	いての案内を送信した。		MEE NOL	スメントに関する相談窓口について周知する。	目標	_	ı	Ī	-	-	-	
										実績	_	-	1	_	-		
										評価	_	В	В	В	В		
				産						活動 指標	各種ハ -	ラスメン	窓口の	案内			
104		市民・職員・事業所に各種ハラスメントに関する		業政	相談内容に応じて各種ハラスメ	ホームページで相談窓口を周知	_	継続	相談内容に応じて各種ハラスメ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
104	窓口の周知		人権·男女共 同参画課	策課	ント窓口を案内する。	Ltc.		於 生 於記	ント窓口を案内する。	目標	_	ı	ı	ı	-	_	
				課						実績	_	-	-	-	-		
										評価	_	В	В	В	В		
				人 権 ·		ハラスメントに関する相談があっ た際に、関係機関の相談窓口を				活動 指標	相談窓	口の周矢	n n				
104		市民・職員・事業所に各種ハラスメントに関する	産業政策課	男女		案内した。 また、NPO法人岸和田市スポー	_	継続	各種相談対応のなかで、必要に 応じて、ハラスメント相談窓口を	各種相談対応のなかで、必要に 応じて、ハラスメント相談窓口を		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
104	窓口の周知	相談窓口について周知する。	人権·男女共 同参画課	共同	を案内する。	ツ協会に対してパワハラに関する出前講座を実施した(5人参		MEE NOL	案内する。	目標	_	ı	1	1	-	-	
				参 画		加)。				実績		-	-	-	-		
				課						評価	_	В	В	-	В		
	市民・惠業者・市	市民・事業者・市職員・	人事課		職員に対してハラスメント防止 のための啓発を行う。				職員に対してハラスメント防止 のための啓発を行う。	活動 指標	研修の質	実施回数	女(回)				
LOF	職員·教職員対	教職員に対して様々な	人権·男女共 同参画課		新任課長研修、新任担当長研	新任課長研修、新任担当長研 修の機会を通じて、ハラスメント	_	公 座 公主	新任課長研修、新任担当長研修の機会を通じて、ハラスメント		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7	
105	防止への意識啓	ト防止のための啓発を	産業政策課		研修を実施する。また、一般職	修の機会を通して、ハラスメント研修を実施できた。	-	継続	研修を実施する。また、一般職向	目標	_	2	2	2	2	2	
	発	行う。	人権教育課		向けにもハラスメント研修の実 施を検討する。				けにもハラスメント研修の実施を 検討する。	実績	2	2	2	2	2		
										評価	-	В	В	В	В		

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して	(上、B:		战、C:目		
	古民,惠紫孝,古	市民・事業者・市職員・	人事課	人 権 ·		岸和田商工会議所と共催で「ハ ラスメント防止研修~心理的安				活動 指標	講座の	開催・情	報提供	の回数(回)	
105	職員·教職員対	教職員に対して様々な	人権·男女共 同参画課	男女		全性のある職場づくり~」を開催 した(11/26開催・26人参加)。	_	継続	ハラスメントに関連する講座の		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
103			産業政策課 人権教育課	共同	開催や情報提供を行う。	人事課の協力のもと、研修ポイント(カフェポイント)対象講座と		MET NYL	開催や情報提供を行う。	目標	_	ı	- 1	- 1	- 1	- 1
	7.5	11 70	八作的月本	参画		し、庁内に周知。複数の職員の 参加につながった。				実績		ı	I	I	I	
				課						評価	_	В	В	В	В	
	古足,惠举老,古	市民・事業者・市職員・	人事課	産		●9月4日に「雇用労働講座」に て「ハラスメント対策」について の講座を実施した。参加者は49				活動 指標	当該テ-	ーマの講	捧座開催	回数		
LOE	職員·教職員対	教職員に対して様々な手段を通じてハラスメン	人権·男女共 同参画課	業政	「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内	名だった。 ●3月5日に「知って得する労働		継続	「雇用労働講座」や「知って得する労働問題講座」の講座内容案		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
105	防止への意識容ト防力発	ト防止のための啓発を	同多回課 産業政策課 人権教育課	策課	容案の候補として検討する。	問題講座」にて「職場のメンタル ヘスケアやメンタルヘルス不調	-	林坠 称 定	の候補として検討する。	目標	-	ı	I	- 1	I	1
		行う。	八惟狄自硃	酥		による休職者の職場復帰に向け た支援」についての講座を実施	- ·			実績	0	ı	0	0	2	
						した。参加者は41名だった。				評価	-	В	D	D	Α	
	市民,惠紫老,市	市民・事業者・市職員・	人事課			【施策番号103と同じ】セクハラ 相談窓口担当者会を実施すると				活動 指標	セクハラ (人)	相談窓	(口担当:	者会への	参加者	数
105	職員·教職員対	教職員に対して様々な	人権·男女共 同参画課	権教	【施策番号103と同じ】	ともに、大阪府教育委員会が作成した「教職員等による児童生	_	継続	【施策番号103と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
105			产工 産業政策課 人権教育課	教育 課		徒等に対するセクシュアル・ハラ スメント等の防止に向けた取組		<u>ጥድ ክንር</u>	[他來留写 1032 同 0]	目標	-	61	61	61	59	58
	光	117.	入惟 教育課	課		み」などの資料を各学校園に周 知した。				実績	61	61	61	61	59	
										評価	-	В	В	В	В	
		相談者の多様なニーズ に対応するため、安心し		人権・一	「つながりサポート事業」を実	「つながりサポート事業」を実施 し、さまざまな悩みを抱える女性			「つながりサポート事業」を実施	活動指標	利用した	うすい相	談体制	の構築		
106	多様なニーズに 対応するための	なニーズに て相談できる体制を確 人権・男女 するための 保するとともに、相談員 同参画課 体制づくり の知識やスキルの向上 関係各課	人権·男女共	男女	施し、多様なニーズの相談に対応する。	また、今年度から女性相談支援		継続	し、多様なニーズの相談に対応する。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
100	相談体制づくり			共 同		員を配置し、「DV相談」、「困難な問題(DVなど)を抱える女性		<u> </u>	「困難な問題 (DVなど) を抱える女性のための相談」を継続す	目標	-	-	-	-	-	-
		を図り、相談事業の質を 高める。		参画	3.	のための相談」において、日々相 談に応じている。			3.	実績		-	-	-	-	
				課						評価	-	Α	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以実施してい	(上、B:		戊、C: 目:		
				人権・一	●岸和田市国際親善協会が 作成した「やさしい日本語を使				●岸和田市国際親善協会が作	活動 指標	「やさし	い日本語	吾」による	る情報発	信の理解	解促進
107	外国籍の女性へ	外国籍の女性が抱える 生きづらさを解消するた		男女	いましょう」の活用を呼び掛ける。	人権問題専門講座として「やさ しい日本語について」を開催。	_	継続	成した「やさしい日本語を使いましょう」の活用を呼び掛ける。		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
107	の支援	めに必要な支援を行う。		共同	●外国人の対応のため、翻訳機(ポケトーク)を庁内各課に	庁内各課に、外国人対応のため ポケトークの貸出を行った。		THE NO.	●外国人の対応のため、翻訳機 (ポケトーク)を庁内各課に貸し	目標	-	-	_	-	-	-
				参画	貸し出す。				出す。	実績		_	_	-	-	
				課						評価	-	В	В	В	В	
				文	田 /				田 4 井口 4 工 4 明十 7 跡 日 7 丁	活動 指標	支援体制	制の整備	前			
	外国籍の女性へ	外国籍の女性が抱える		化		男女共同参画推進本部幹事・			男女共同参画に関する職員研修等で得た知識やスキルを課内		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
107	の支援	生きづらさを解消するた めに必要な支援を行う。		国際	より関係機関へつないでいく。	実務担当者研修で得た情報を - 課内で共有した。	-	継続	で共有すると共に、市民団体等 から得られた情報の内容により	目標	-	-	-	-	-	_
				課					関係機関へつないでいく。	実績	-	_	_	_	-	
										評価	_	В	В	В	В	
		B/10 = 70 = 1		人 権 ·		多様な視点からの防災について	て開催できなかったため。			活動指標	出前講	座の実施	毎回数・1	青報提供	回数(回	回)
100		男女のニーズの違いをふまえた災害対応がで	人権·男女共 同参画課	男女					多様な視点からの防災について		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
108	が女性の参画促進	きるよう、地域の自主防 災組織への女性の参画	危機管理課 消防本部	共同	て考える講座を開催する。	考える講座は開催できなかっ た。		継続	考える講座を開催する。	目標	_	2	2	2	2	2
		を促進する。		参画						実績		2	3	I	0	
				課						評価	-	В	Α	С	D	
		男女のニーズの違いを		合	防災福祉コミュニティやその 他、地域活動団体から要請の ある出前講座において、「災害	防災福祉コミュニティ等から要請のあった出前講座31回のうち、避難所に関して触れる機会			防災福祉コミュニティやその他、 地域活動団体から要請のある 出前講座において、「災害対応		出前講点イドライン				の) にお	けるガ
100	自主防災組織へ	へ ふまえた災害対応がで 人権・男女共 機 対	対応力を強化する女性の視点	のあった12回において、男女共 同参画の視点からの防災・復興		⋞⊯ ⋞ 士	力を強化する女性の視点~男女		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7		
108	の女性の参画促進	災組織への女性の参画	危機管理課 消防本部	理	~男女共同参画の視点からの 防災・復興ガイドライン~ (令	同参画の視点からの ガイドラインについて言及し、避 難所運営における甲弁のニープ	杯 在	共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン~(令和2年5月	目標	-	100	100	100	100	100	
		を促進する。		課	画局)」について言及し、ガイド	の違いを通じて、男女共同参画の必要性への理解促進を図っ			内閣府男女共同参画局)」について言及し、ガイドラインへの関	実績	-	100	100	100	100	
					ラインへの関心を促す。	た。			心を促す。	評価	_	В	В	В	В	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値り 実施して	(上、B:		或、C:目		
		田 + の ブの舎いた								活動 指標	地域防	災へのも	女性参画	を促進す	する回数	文(回)
100	自主防災組織への共転の	男女のニーズの違いを ふまえた災害対応がで きるよう、地域の自主防	人権·男女共 同参画課	消防		研修の際に、女性が自主防災組 織に参画することの大切さを伝	目標回数を実施できていないた	公 坐 公主	所管する市民団体等を通じて地 域防災への女性参画を促進す		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
100	進	災組織への女性の参画を促進する。	危機管理課 消防本部	本部	する。	えた。	め	<u> አቀድ አ</u> ሃር	る。	目標	_	2	2	2	2	2
		と促進する。								実績	_	0	I	_	-	
										評価	_	С	С	С	С	
		過去の災害時に女性の 視点が欠落していた教		人 権 ·				活動 指標	講座開作	催回数・	情報提	供回数(回)			
100		訓から、男女共同参画 の視点を取り入れた地	人権·男女共 同参画課	男女	【施策番号108と同じ】	【施策番号108と同じ】	【施策番号108と同じ】	継続	【施策番号108と同じ】		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
109	1207111 - 12771 - 17	域防災活動を進められるよう地域と連携して講	危機管理課 消防本部	共同		[他來省号1002回6]	[他來省等1002回6]	和生形 论		目標	_	2	2	2	2	2
		座等を開催する。		参画						実績		2	3	2	0	
				課						評価	_	В	Α	В	D	
		過去の災害時に女性の 視点が欠落していた教		危	防災福祉コミュニティやその 他、地域活動団体から要請の ある出前講座において、「災害	防災福祉コミュニティ等から要請のあった出前講座31回のうち、避難所に関して触れる機会			「防災価値コミューティ、(ひ)心、」		出前講ぶイドライン				の) にお	うけるガ
109	男女共同参画の 視点を取り入れ	訓から、男女共同参画 の視点を取り入れた地	人権·男女共 同参画課	機管	対応力を強化する女性の視点 〜男女共同参画の視点からの	のあった12回において、男女共 同参画の視点からの防災・復興	_	継続			策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
107		域防災活動を進められるよう地域と連携して講	危機管理課 消防本部	理課	は※、復興ガイドライン。 (◆	ガイドラインについて言及し、避 難所運営における男女のニーズ		THE HYL	興ガイドライン~(令和2年5月 内閣府男女共同参画局)」につ	目標	_	100	100	100	100	100
		座等を開催する。		歃	画局)」について言及し、ガイドラインへの関心を促す。	の違いを通じて、男女共同参画 の必要性への理解促進を図っ			いて言及し、ガイドラインへの関心を促す。	実績	_	100	100	100	100	
					フィンへの関心を促す。	た。			10. を従り。	評価	_	В	В	В	В	
		過去の災害時に女性の 視点が欠落していた教			男女共同参画の視点を取り入				男女共同参画の視点を取り入	活動 指標	講座等の	の開催回	回数(回))		
100		訓から、男女共同参画 の視点を取り入れた地	人権·男女共 同参画課	消防	れた地域防災活動を進められるよう、町会での訓練の際等	実績なし。	実施できていないため。	公 座 公主	れた地域防災活動を進められる よう、町会での訓練の際等に、所		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
109		域防災活動を進められ	危機管理課 消防本部	本部	に、所管する市民団体と連携し	天順なし。	天心しさしいないため)。	継続	管する市民団体と連携して講座	目標	_	2	2	2	2	2
		るよう地域と連携して講 座等を開催する。			て講座等を開催する。				等を開催する。	実績	_	0	0	0	0	
										評価	-	D	D	D	D	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)	令和7年度 取組内容		目標値以 実施して((上、B:		战、C:目		
	男女共同参画の	男女共同参画の視点で		人 権 ·							性別の過た避難剤			_		リ入れ
110	視点に基づく避 難所運営マニュ	みたときに、避難所運営 において何が必要かを	人権·男女共 同参画課	男女	「避難所運営マニュアル・防災 マニュアル」改訂時には、さまざ	今年度、マニュアルに関する改	_	継続	「避難所運営マニュアル・防災マニュアル」改訂時には、さまざ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	アル・防災マニュアルの作成	検証し、すでにある避難 所運営マニュアルを改	危機管理課 消防本部	共同	まなニーズに対応できるものと するようはたらきかける。	訂はなかった。		利性 羽 む	まなニーズに対応できるものと するようはたらきかける。	目標	-	-	-	-	-	-
	7700715110	訂する。		参画						実績		-	-	-	-	
				課						評価	-	D	В	-	-	
	男女共同参画の	男女共同参画の視点で		危	防災福祉コミュニティやその 他、地域活動団体から要請の	防災福祉コミュニティ等から要請の あった出前講座31回のうち、避難 所に関して触れる機会のあった12 回において、男女共同参画の視点			防災福祉コミュニティやその他、 地域活動団体から要請のある		避難所開検討及で	開設・運 び助言	営マニ <i>:</i>	ェアルのご	改訂を含	含めた
110	視点に基づく避難所運営マニュ		同参画課	機管	ある出前講座において、避難所	からの防災・復興ガイドラインについて言及し、避難所運営における男	_	継続	出前講座において、避難所運営委員会における委員の割合を男		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	アル・防災マニュアルの作成	検証し、すでにある避難 所運営マニュアルを改	危機管理課 消防本部	理課	合を男女同等とすることについ	女のニーズの違いを通じて、男女共同参画の必要性への理解促進を		补生 的证	女同等とすることについて言及 し、男女共同参画による避難所	目標	-	ı	-	-	-	-
	訂す	訂する。		酥	避難所運営の理解を促す。	図った。 (今年度は避難所運営マニュアル			運営の理解を促す。	実績	_	-	-	-	-	
						の改訂なし)				評価	-	В	В	В	В	
	男女共同参画の	男女共同参画の視点で								活動 指標	災害活動	動マニュ	アルの雪	 怪備		
	視点に基づく避難所運営マニュ	みたときに、避難所運営 において何が必要かを	人権·男女共 同参画課	消防	見過ごされがちな女性の視点 を災害対応に活かせるよう、マ	マニュアルの改訂検討中である	完了できていないため。	継続	見過ごされがちな女性の視点を 災害対応に活かせるよう、マニュ		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
	アル・防災マニュアルの作成	検証し、すでにある避難 所運営マニュアルを改	危機管理課 消防本部	本部	ニュアルの改訂を進めていく。	が、完了できず。	1 (3 (V · 4 V · / 2 W).	补生的 6	アルの改訂を進めていく。	目標	-	-	-	-	ı	-
) TOOTERS	訂する。								実績	-	-	-	-	ı	
										評価	-	D	D	D	D	
		男女共同参画の視点が		人 権 ·		●7·8·9·10月に参事以下の				活動指標	講座・研	講座·研修開催回数(回)				
		取り入れられた避難所	人権·男女共	男女	●職員対象の防災に関する研修を開催する。	職員対象とした男女のニーズの	目標の講座・研修開催回数に達	⋞⊯ ⋞ 士	●男女共同参画の視点が取り		策定時 R3.3	R3	R4	R5	R6	R7
' ' '	視点からの避難 所運営	と連携して講座の開催	同参画課 危機管理課	共同	●市民対象の防災に関する講 座を開催する。	違いに配慮した避難所運営に 関する職員研修を実施し、197	しなかったため	杯	入れられた防災に関する講座を 開催する。	目標	_	22	11	9	9	2
		や訓練を行う。		参画		人が参加した。				実績		32	П	10	8	
				課						評価	_	Α	В	Α	С	

施策番号	施策内容	事業概要	担当課	実施課	令和6年度 取組内容	令和6年度 実績	評価の理由 数値目標で評価がA・Bの場合 は「-」	今後の方向性 (拡大、継続、縮 小)			目標値以実施してい	上、B:		戊、C:目:		
		男女共同参画の視点が			【施策番号108参照】 防災福祉コミュニティやその他、地 域活動団体から要請のある出前 講座において、「災害対応力を強	防災福祉コミュニティ等から要請の あった出前講座31回のうち、避難 所に関して触れる機会のあった12 回において、男女共同参画の視点			【施策番号108参照】 防災福祉コミュニティやその他、地域活動団体から要請のある出前講座において、「災害対応力を強化す		出前講点イドライン				の) にお	;けるガ
111	男女共同参画の 視点からの避難 所運営	取り入れられた避難所 運営ができるよう、地域 と連携して講座の開催	人権·男女共	管理	画の視点からの防災・復興カイト ライン~(令和2年5月 内閣府男 女共同参画局)」について言及し、	からの防災・復興ガイドラインについて言及し、避難所運営における男女のニーズの違いを通じて、男女共		継続	をなせの視点~男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン~ (令和2年5月 内閣府男女共同参画局) について言及し、ガイドライ	目標	策定時 R3.3 -	R3	R4	R5	R6	R7
		や訓練を行う。			カイドラインへの関心を促す。また、 避難所配備職員選出依頼時に は、思たペマズの選出を促す立言	図った。			回向りに パパミ及じ、カイトラインへの関心を促す。また、避難所配 備職員選出依頼時には、男女ペア での選出を促す文言を入れる。	実績評価	_	100 B	100 B	100 B	100 B	